

第3期  
小山市商業・観光振興計画

賑わい・魅力ある商業・観光振興で  
人々に選ばれ、楽しみ喜ばれる、おやまの創造

令和3（2021）年3月

小山市





## 第1章 計画の前提条件等の整理

- 1-1. 計画の目的等 .....1
  - (1) 計画の目的
  - (2) 計画の期間
- 1-2. 上位関連計画の整理 .....2
  - (1) 第8次小山市総合計画
  - (2) 第2次小山市まち・ひと・しごと創生総合戦略
  - (3) 第3期「おやまブランド」創生・発信推進計画
  - (4) 小山市渡良瀬遊水地観光地化推進5ヵ年計画
  - (5) 小山市空家等対策計画

## 第2章 商業・観光に関わる現状把握

- 2-1. 小山市の概況 .....7
  - (1) 小山市の位置・地勢
  - (2) 人口・世帯及び年齢別人口構成等
  - (3) 人口動態等
  - (4) 在留外国人数
  - (5) 学生数
  - (6) 鉄道駅利用状況
  - (7) 就業構造
  - (8) 市内総生産、産業別総生産の動向
  - (9) 事業所の状況
- 2-2. 小山市の商業・観光の現状 .....18
  - (1) 小山市の商業の推移
  - (2) 小売店舗の立地状況
  - (3) 観光客入込数、宿泊数の推移
  - (4) イベント実施状況
  - (5) 観光等資源の状況
  - (6) 小山市の商工業における景気動向
  - (7) 中心市街地における開発動向

## 第3章 市民及び商業観光関連事業者の意向

- 3-1. アンケート調査からみる市民及び商業観光関連事業者の意向について…38
  - (1) 第8次小山市総合計画
  - (2) 第3期「おやまブランド」創生・発信推進計画
  - (3) 小山市インバウンド3ヵ年計画
  - (4) 第1期小山市シティプロモーション5ヵ年計画

## 第4章

### 計画課題の整理

- 4-1. 商業・観光の現況等からの課題 .....44
  - (1) 商業の現状からの課題
  - (2) 観光・イベント事業に関する現状からの課題

## 第5章

### 商業・観光振興計画の検討

- 5-1. 商業・観光振興の基本方針と基本目標 .....46
  - (1) 商業・観光振興の基本方針
  - (2) 商業・観光振興の基本目標
- 5-2. 計画体系 .....48
- 5-3. 体系別基本施策及び具体的取組み.....49
- 5-4. 重点事業の位置づけ.....63
- 5-5. イベント事業実施の方向性検討.....64

## 第6章

### 実現に向けた課題整理

- 6-1. 実現に向けた課題整理 .....66
  - (1) 推進体制づくり
  - (2) 計画の進行管理
  - (3) 連携と協働

## 資料編

- 資-1. 策定の経緯 .....67
- 資-2. パブリックコメント：「第3期小山市商業・観光振興計画（素案）」について ...67
  - (1) パブリックコメントの概要
  - (2) 実施結果と市の考え方
- 資-3. 小山市商業・観光振興計画策定委員会 .....72
  - (1) 設置要綱
  - (2) 委員名簿
- 資-4. 小山市商業・観光振興計画策定懇話会 .....75
  - (1) 設置要綱
  - (2) 委員名簿

# 第1章

## 計画の前提条件等の整理

### 1-1. 計画の目的等

#### (1) 計画の目的

小山市では、小山市総合計画の商業・観光の振興に関する部門別計画として、平成27（2015）年に「第2期商業・観光振興計画」を策定した。

本計画は、人と経済・文化が交流する、住みたい・訪れたい、安全・安心で「夢」・「希望」溢れる新しい小山の創生に向けて、商業・観光の振興を図るための方向性を明確化するとともに、市内各地域の特性を活かした商業・観光の振興に求められる具体性、実現性の高い取組みについて基本方針を示し、これに沿って各種の施策を展開してきたものである。

このたび、第2期の計画期間が令和2（2020）年度で終了することから、これらの商業・観光資源を取り巻く現状と課題を分析したうえで、商業・観光振興の基本目標等の体系を必要に応じて見直し、効果的な施策の展開を図るため「第3期小山市商業・観光振興計画」を策定する。

#### (2) 計画の期間

本計画の期間は、令和3（2021）年度から令和7（2025）年度の5ヵ年とする。

目標年次の設定に関しては、本計画は、本市の行政運営の総合的・長期的指針である「小山市総合計画」の商業・観光振興に関する部門別計画として位置づけられることから、総合計画基本構想の目標年次との整合を図ることとする。

なお、今後の社会経済情勢の変化等に対応するため、必要に応じて計画内容の見直しや充実を図っていくものとする。

#### ■ 図-1 計画の期間

年 度	令和2 (2020)年	令和3 (2021)年	令和4 (2022)年	令和5 (2023)年	令和6 (2024)年	令和7 (2025)年
小山市全体の総合的・長期的指針としての 【小山市総合計画<基本構想>】		令和3年度～7年度				
部門計画としての 【第3期小山市商業・観光振興計画】		令和3年度～7年度				

## 1-2. 上位関連計画の整理

### (1) 第8次小山市総合計画

■策 定 年 月	令和3（2021）年3月策定
■計画の目的	<p>・令和7（2025）年を目標に、少子高齢・人口減少への更なる対応に加えて、自然災害や感染症など、多様化する市民の価値観やニーズを的確に捉えるとともに、「Society5.0」、「国土強靱化」、「新しい生活様式の定着」等の新たな視点を踏まえながら、「SDGs（持続可能な開発目標）」との一体化など、近年の社会経済情勢の変化に対応した、持続可能なまちづくりを進めるための指針となる総合的な計画。</p>
■計画の基本理念	<div style="text-align: center;"> <p>市民との対話と連携・協働による 「田園環境都市 小山」を未来につなぐ 持続可能なまちづくり</p> <p>市民とともに進める 支え合い認め合う ひと・行政づくり</p> <p>魅力ある地域資源を生かした 住み続けたい まちづくり</p> <p>豊かな自然との共生と 安全で安心できる くらしづくり</p> <p>まちづくりの基本理念</p> </div>
■計画における商業・観光振興関連の位置づけ等	<p>○商業関連個別施策</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>商業活性化による賑わいあるまちづくり 【中心商業活性化促進／地域商業活性化促進／地元消費の喚起促進／まちなかの賑わい】</li> <li>多様なPR・情報による小山の魅力の発信【おやまブランドの活用】</li> <li>協働で取り組む連携・支援【体制強化・人づくり支援】</li> </ol> <p>○観光関連個別施策</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>観光資源の発掘・活用・磨き上げ 【地域資源を活用した観光の振興／祇園城跡（城山公園）小山御殿広場等の活用／本場結城紬による観光まちづくりの推進／渡良瀬遊水地周辺地域のエコツーリズム推進】</li> <li>観光情報の発信強化 【「おやまブランド」創生推進運動との連携促進／小山の魅力発信の推進／歴史と自然のネットワーク整備／小山市観光協会の事業拡充の支援】</li> <li>インバウンド観光・誘客の拡大【インバウンド等による観光誘客の推進】</li> </ol>

(2) 第2次小山市まち・ひと・しごと創生総合戦略

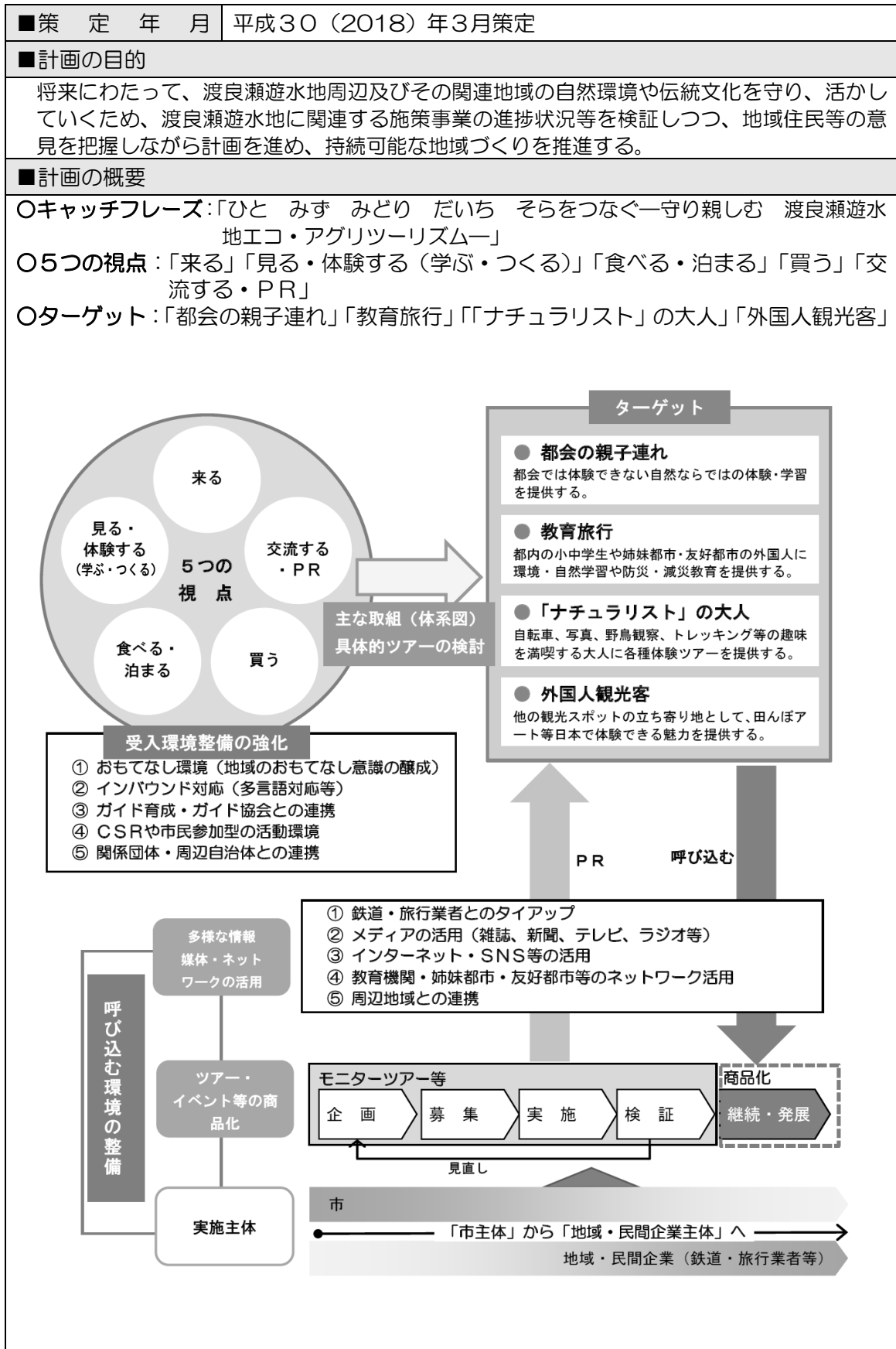
<p>■策定年月 令和2(2020)年3月策定</p>																																					
<p>■計画の目的</p> <p>・国や県の総合戦略を見据えながら、小山市人口の現状と将来の展望を示す新たな人口ビジョンを策定するとともに、これまでの5年間で進められてきた施策を検証し、その成果、課題等を踏まえて、策定後5カ年の目標や施策の方向性等をまとめた本計画を策定し、地方創生のより一層の充実・強化に取り組むことで、小山市に住み、働き、豊かな生活を送りたいと願う市民を増やし、その希望を叶えることができる地域社会の実現を目指す。</p>																																					
<p>■計画の概要</p> <p>○総人口の将来展望：令和27(2045)年に16万人以上を確保</p>																																					
<table border="1"> <caption>人口推移データ (推計値)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>市独自推計 (人)</th> <th>社人研推計値準拠 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2010年</td><td>164,454</td><td>164,454</td></tr> <tr><td>2015年</td><td>166,760</td><td>-</td></tr> <tr><td>2020年</td><td>167,536</td><td>167,536</td></tr> <tr><td>2025年</td><td>167,467</td><td>166,783</td></tr> <tr><td>2030年</td><td>166,704</td><td>164,777</td></tr> <tr><td>2035年</td><td>165,252</td><td>161,610</td></tr> <tr><td>2040年</td><td>163,072</td><td>157,459</td></tr> <tr><td>2045年</td><td>160,405</td><td>152,556</td></tr> <tr><td>2050年</td><td>157,490</td><td>147,339</td></tr> <tr><td>2055年</td><td>154,471</td><td>141,720</td></tr> <tr><td>2060年</td><td>151,370</td><td>135,566</td></tr> </tbody> </table>		年	市独自推計 (人)	社人研推計値準拠 (人)	2010年	164,454	164,454	2015年	166,760	-	2020年	167,536	167,536	2025年	167,467	166,783	2030年	166,704	164,777	2035年	165,252	161,610	2040年	163,072	157,459	2045年	160,405	152,556	2050年	157,490	147,339	2055年	154,471	141,720	2060年	151,370	135,566
年	市独自推計 (人)	社人研推計値準拠 (人)																																			
2010年	164,454	164,454																																			
2015年	166,760	-																																			
2020年	167,536	167,536																																			
2025年	167,467	166,783																																			
2030年	166,704	164,777																																			
2035年	165,252	161,610																																			
2040年	163,072	157,459																																			
2045年	160,405	152,556																																			
2050年	157,490	147,339																																			
2055年	154,471	141,720																																			
2060年	151,370	135,566																																			
<p>○基本理念：「未来へつながる ひとを創る」「未来へつながる まちを創る」「未来へつながる くらしを創る」</p>																																					
<p>■計画における商業・観光振興関連の戦略等</p>																																					
<p>基本目標1 戦略3 戦略的・魅力的な観光地化と誘客</p> <p>(1) 渡良瀬遊水地周辺地域の観光地化</p> <p>(2) 本場結城紬による観光まちづくりの推進</p> <p>(3) 地域資源を活用した観光の振興</p> <p>(4) おやまブランドの創生・発信</p>	<table border="1"> <tr> <td> <p>【基本目標1】 おやまに魅力あるしごとをつくる</p> <p>戦略1 ものづくり産業のさらなる発展と次世代産業の創出</p> <p>戦略2 未来へつなげるおやまの農業振興</p> <p>戦略3 戦略的・魅力的な観光地化と誘客</p> <p>戦略4 国内外から選ばれるおやまの創生</p> </td> <td rowspan="4"> <p>【横断的な目標1】 多様な人材の活躍を推進する</p> <p>【横断的な目標2】 新しい時代の流れを力にする</p> </td> <td rowspan="4"> <p>□多様な人々の活躍による地方創生の推進</p> <p>□SDGsの実現</p> <p>□Society 5.0の推進</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>【基本目標2】 おやまに新しいひとの流れをつくる</p> <p>戦略5 おやまの未来を支える若者や女性の移住・定住促進</p> <p>戦略6 新たな人を呼び込む企業誘致の推進</p> <p>戦略7 おやまへの人の流れの創出</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>【基本目標3】 おやまて出会い、結婚、出産、子育ての希望の実現と誰もが活躍できる共生社会をつくる</p> <p>戦略8 出会いから結婚までの支援の充実</p> <p>戦略9 妊娠・出産・産後・子育ての切れ目のない支援充実</p> <p>戦略10 多様な人々が活躍できる環境づくり</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>【基本目標4】 おやまに新たな時代に合った持続可能な地域をつくり安全・安心で快適な暮らしを守る</p> <p>戦略11 暮らしやすいおやまの「まち」づくり</p> <p>戦略12 スポーツ・食育・医療による健康長寿100歳プロジェクトの推進</p> <p>戦略13 未来技術を活用したおやまづくり</p> <p>戦略14 地域コミュニティづくり</p> <p>戦略15 県南50万人圏域を目指したまちづくり</p> </td> </tr> </table>	<p>【基本目標1】 おやまに魅力あるしごとをつくる</p> <p>戦略1 ものづくり産業のさらなる発展と次世代産業の創出</p> <p>戦略2 未来へつなげるおやまの農業振興</p> <p>戦略3 戦略的・魅力的な観光地化と誘客</p> <p>戦略4 国内外から選ばれるおやまの創生</p>	<p>【横断的な目標1】 多様な人材の活躍を推進する</p> <p>【横断的な目標2】 新しい時代の流れを力にする</p>	<p>□多様な人々の活躍による地方創生の推進</p> <p>□SDGsの実現</p> <p>□Society 5.0の推進</p>	<p>【基本目標2】 おやまに新しいひとの流れをつくる</p> <p>戦略5 おやまの未来を支える若者や女性の移住・定住促進</p> <p>戦略6 新たな人を呼び込む企業誘致の推進</p> <p>戦略7 おやまへの人の流れの創出</p>	<p>【基本目標3】 おやまて出会い、結婚、出産、子育ての希望の実現と誰もが活躍できる共生社会をつくる</p> <p>戦略8 出会いから結婚までの支援の充実</p> <p>戦略9 妊娠・出産・産後・子育ての切れ目のない支援充実</p> <p>戦略10 多様な人々が活躍できる環境づくり</p>	<p>【基本目標4】 おやまに新たな時代に合った持続可能な地域をつくり安全・安心で快適な暮らしを守る</p> <p>戦略11 暮らしやすいおやまの「まち」づくり</p> <p>戦略12 スポーツ・食育・医療による健康長寿100歳プロジェクトの推進</p> <p>戦略13 未来技術を活用したおやまづくり</p> <p>戦略14 地域コミュニティづくり</p> <p>戦略15 県南50万人圏域を目指したまちづくり</p>																														
<p>【基本目標1】 おやまに魅力あるしごとをつくる</p> <p>戦略1 ものづくり産業のさらなる発展と次世代産業の創出</p> <p>戦略2 未来へつなげるおやまの農業振興</p> <p>戦略3 戦略的・魅力的な観光地化と誘客</p> <p>戦略4 国内外から選ばれるおやまの創生</p>	<p>【横断的な目標1】 多様な人材の活躍を推進する</p> <p>【横断的な目標2】 新しい時代の流れを力にする</p>	<p>□多様な人々の活躍による地方創生の推進</p> <p>□SDGsの実現</p> <p>□Society 5.0の推進</p>																																			
<p>【基本目標2】 おやまに新しいひとの流れをつくる</p> <p>戦略5 おやまの未来を支える若者や女性の移住・定住促進</p> <p>戦略6 新たな人を呼び込む企業誘致の推進</p> <p>戦略7 おやまへの人の流れの創出</p>																																					
<p>【基本目標3】 おやまて出会い、結婚、出産、子育ての希望の実現と誰もが活躍できる共生社会をつくる</p> <p>戦略8 出会いから結婚までの支援の充実</p> <p>戦略9 妊娠・出産・産後・子育ての切れ目のない支援充実</p> <p>戦略10 多様な人々が活躍できる環境づくり</p>																																					
<p>【基本目標4】 おやまに新たな時代に合った持続可能な地域をつくり安全・安心で快適な暮らしを守る</p> <p>戦略11 暮らしやすいおやまの「まち」づくり</p> <p>戦略12 スポーツ・食育・医療による健康長寿100歳プロジェクトの推進</p> <p>戦略13 未来技術を活用したおやまづくり</p> <p>戦略14 地域コミュニティづくり</p> <p>戦略15 県南50万人圏域を目指したまちづくり</p>																																					

(3) 第3期「おやまブランド」創生・発信推進計画

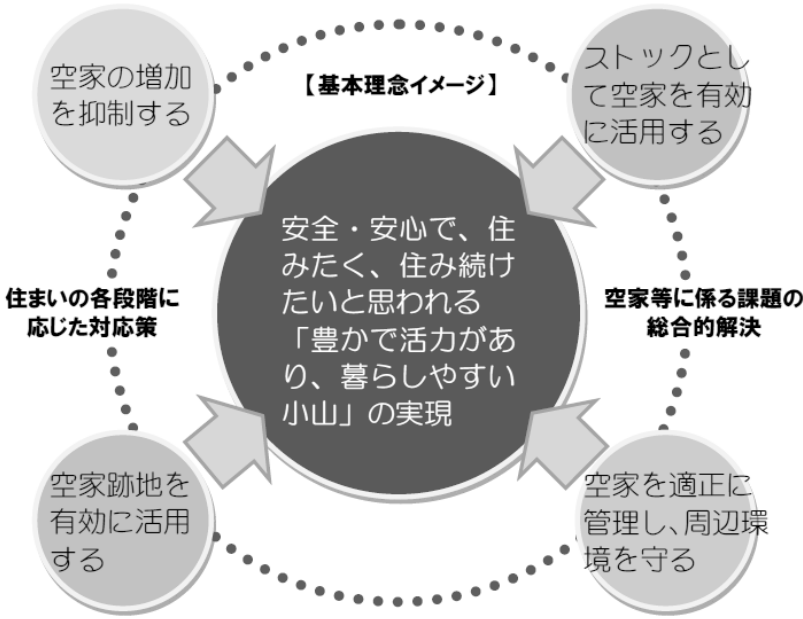
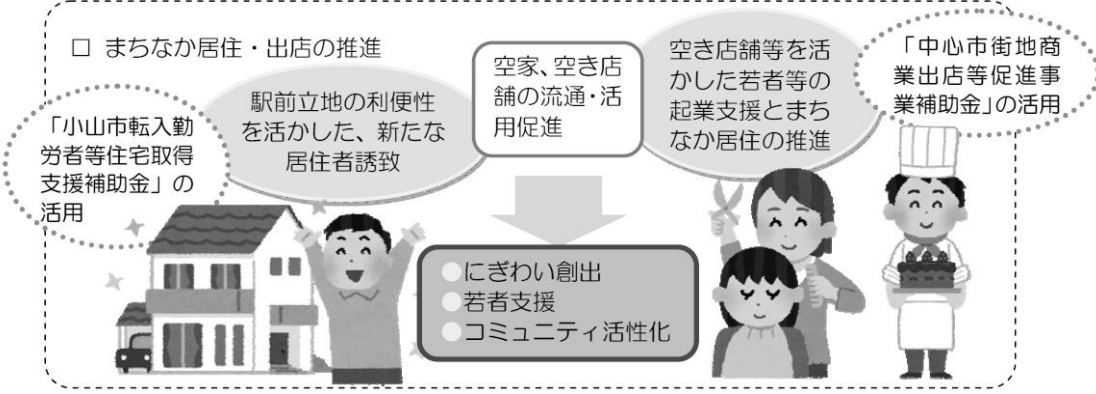
■策 定 年 月	平成31（2019）年3月策定
■計画の目的	・平成26（2014）年3月に策定された第2期「おやまブランド」創生・発信推進計画の検証と計画の見直しを行い、基本的な方向性や具体的な取組み内容を再構築するとともに、令和元（2019）年度以降の具体的な事業推進計画を明らかにすることを目的として策定。
■計画の概要	○ブランド創生のキャッチフレーズ：「みんなが誇り育てる 開運のまち おやまブランド」
■計画体系	<p style="text-align: center;"><b>第3期「おやまブランド」創生・発信推進計画の体系</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"><p><b>1. 農畜産物・本場結城紬をはじめとする伝統工芸のまち</b></p><ul style="list-style-type: none"><li>1-1 既存ブランド選定品の拡充・展開</li><li>1-2 新しい産品や利用法の開発</li><li>1-3 本場結城紬をはじめとする歴史ある伝統工芸品</li></ul><p><b>2. 歴史・開運のまち</b></p><ul style="list-style-type: none"><li>2-1 「開運のまち」をキーワードとした歴史ブランド展開</li><li>2-2 地域の歴史の発見・掘り起こし</li></ul><p><b>3. 思川・思川桜・渡良瀬遊水地のまち</b></p><ul style="list-style-type: none"><li>3-1 母なる川「思川」の活用</li><li>3-2 「思川桜」でまちを彩る</li><li>3-3 渡良瀬遊水地の賢明な活用の3本柱</li></ul><p><b>4. ハンドベル・映画・花火の市民文化のまち</b></p><ul style="list-style-type: none"><li>4-1 ハンドベルで世界に発信、市民が奏でる天使のメロディ</li><li>4-2 心豊かで、活気のある文化都市小山の推進</li><li>4-3 関東一を誇る小山の花火や多くのイベント</li></ul><div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;">映画のまち を追加</div><p><b>5. 男女共同参画のまち</b></p><ul style="list-style-type: none"><li>5-1 女性も活躍し、男女が共に生きる「市民力」のまち</li></ul><p><b>6. ボランティアのまち</b></p><ul style="list-style-type: none"><li>6-1 「ボランティア」の力で地域を育てる、協働のまち</li></ul><p><b>7. スポーツ・健康のまち</b></p><ul style="list-style-type: none"><li>7-1 スポーツで市民の健康づくり「スポーツ立市」</li><li>7-2 市民みんな健康づくり「健康都市おやま」</li><li>7-3 シニア元気あっぷ塾</li></ul></div>



(4) 小山市渡良瀬遊水地観光地化推進5ヵ年計画



(5) 小山市空家等対策計画

<p>■策 定 年 月</p>	<p>平成30（2018）年3月策定</p>
<p>■計画の目的</p>	
<p>小山市の基本的な取組方針を市民の皆様を示し、空家法第6条に基づき、空家等に関する対策を総合的かつ計画的に推進することにより、安全・安心で、住みたく、住み続けたいと思われる「豊かで活力があり、暮らしやすい小山」の実現を目指す。</p>	
<p>■計画の概要</p>	
<p>○基本理念：安全・安心で、住みたく、住み続けたいと思われる「豊かで活力があり、暮らしやすい小山」</p> 	
<p>■体系における観光関連の位置づけ等</p>	
<p>【基本方針2】空き家の流通・活用促進                  2-2. 空家等の多様な利活用の促進                  2-2-1. 空家等を活用したまちなか出店・居住の推進</p>  <p>□ まちなか居住・出店の推進</p> <p>●にぎわい創出 ●若者支援 ●コミュニティ活性化</p> <p>【基本方針4】空家等の有効活用                  4-2. 魅力・活力ある地域づくりへの活用                  4-2-2. 地域づくり、観光支援施設等の配置検討</p>	

## 第2章

## 商業・観光に関わる現状把握

### 2-1. 小山市の概況

#### (1) 小山市の位置・地勢

本市は栃木県南部に位置し、東京からは北に約60km、県都宇都宮市からは南に約30kmの距離にある。南北21.40km、東西20.25km、面積171.75km<sup>2</sup>の市域を有し、市域の東側は茨城県に接しており、隣接市町は東に真岡市・茨城県結城市・茨城県筑西市、南に野木町・茨城県古河市、西に栃木市、北は下野市に接している。

地形は、関東平野のほぼ中央でほとんど起伏がない。市中央部には思川が、東部に鬼怒川が、西部に巴波川が流れている。また、思川の東部に広がる小山台地と鬼怒川・田川流域の鬼怒川低地、思川の西部には思川・巴波川流域の思川低地が広がっている。

市街地の周辺には農地や平地林の田園環境が広がっており、コウノトリが定着・繁殖したラムサール条約湿地「渡良瀬遊水地」をはじめとする豊かな自然環境と数多くの歴史的・文化的財産を有し、農業・商業・工業のバランスがとれたまちとして発展している。

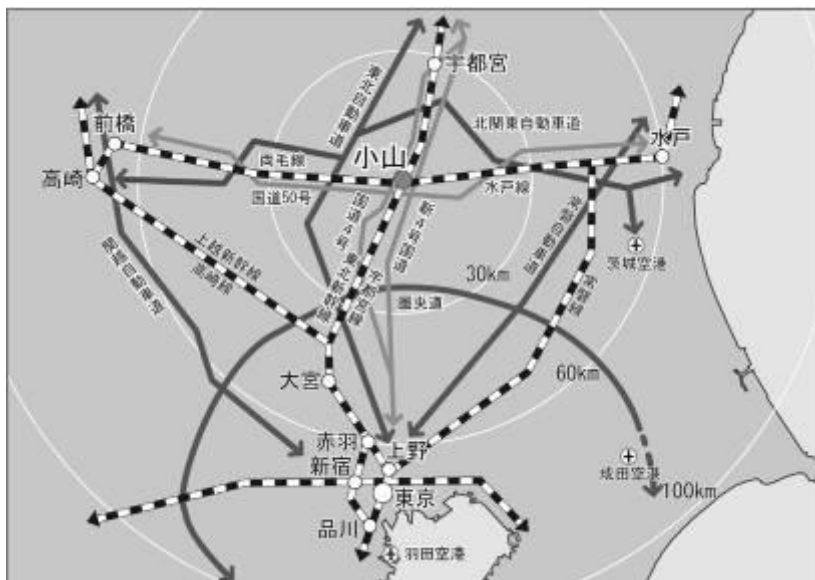
鉄道は、南北のJR宇都宮線と東北新幹線を軸に、東からJR水戸線、西からJR両毛線が小山駅で結節し、平成27（2015）年には上野東京ラインの開通により、東京駅や東海道線への利便性が飛躍的に向上した。

道路は、国道4号と新4号国道、国道50号の広域幹線道路が市内を南北、東西に貫いており、圏央道五霞ICに至近で接続できるなど、交通の要衝となっている。

また、本市の気候は、やや内陸性をおびた太平洋側気候を示し、おおむね温暖で住みよい気候であるといえる。また、冬期の乾燥した北西の強い季節風「男体おろし」や夏にみられる激しい雷は特徴的な風物のひとつである。

#### ■ 位置図

面積	広がり	経緯度	標高点	市庁舎所在地
171.75km <sup>2</sup>	東西 20.25km 南北 21.40km	北緯 36度 18分 東経 139度 48分	35.1m	小山市中央町 1-1-1



## (2) 人口・世帯及び年齢別人口構成等

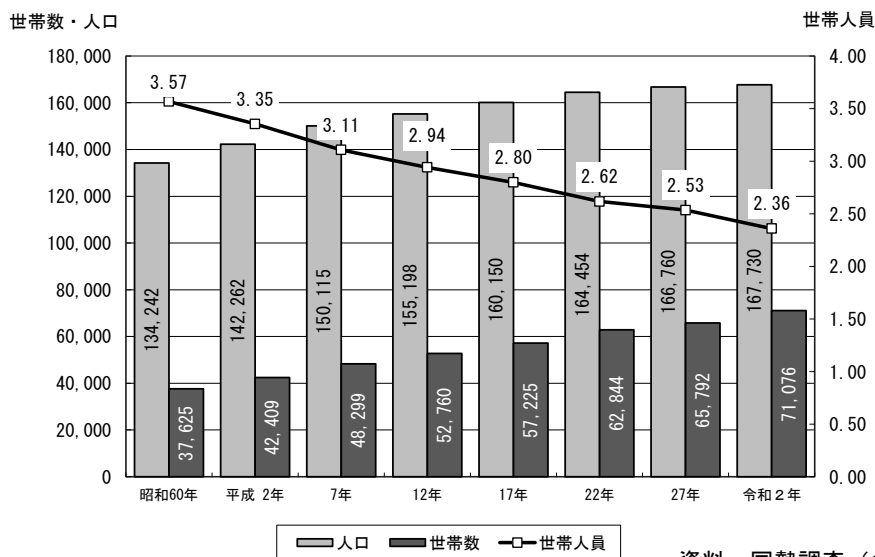
### ① 小山市の人口・世帯数・世帯人員の推移

本市の昭和 60（1985）年から令和 2（2020）年までの人口・世帯数・世帯人員の推移は次のとおりである。

全国的な人口減少傾向の中、本市においては、経年的に人口、世帯数とも増加傾向にあり、令和 2（2020）年 4 月 1 日現在で人口は 167,730 人、世帯数は 71,076 世帯となった。

一方、世帯人員は減少傾向にあり、令和 2（2020）年では 2.36 人／世帯となっている。

### ■ グラフー人口・世帯数、世帯人員の推移

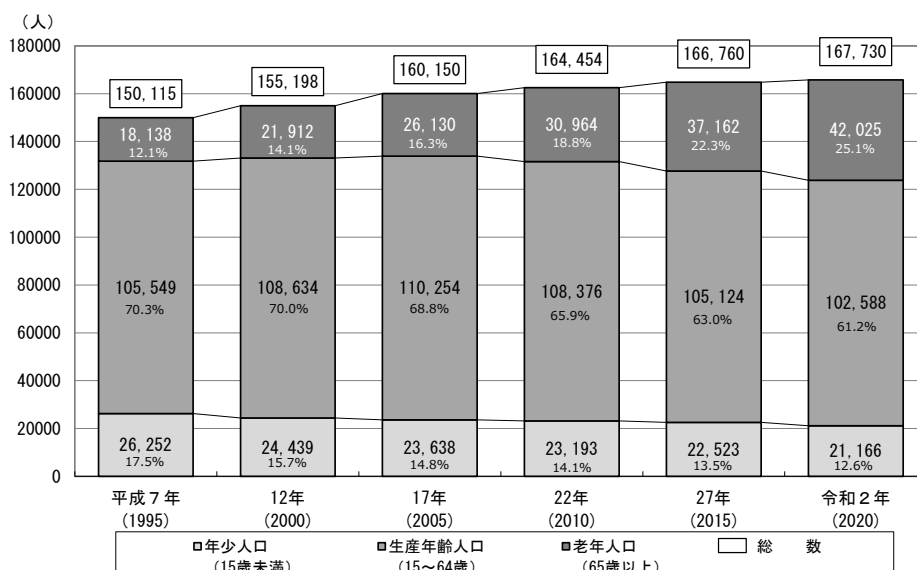


資料：国勢調査（各年10月1日現在）  
※令和 2（2020）年は栃木県毎月人口調査

### ② 年齢別人口構成

本市の平成 7（1995）年から令和 2（2020）年までの年齢別人口構成を見ると、年少人口は 12.6%、生産年齢人口は 61.2%と減少傾向にあるが、老年人口は 25.1%と増加傾向にあり、本市においても少子高齢化が進行している状況である。

### ■ グラフー年齢別人口構成



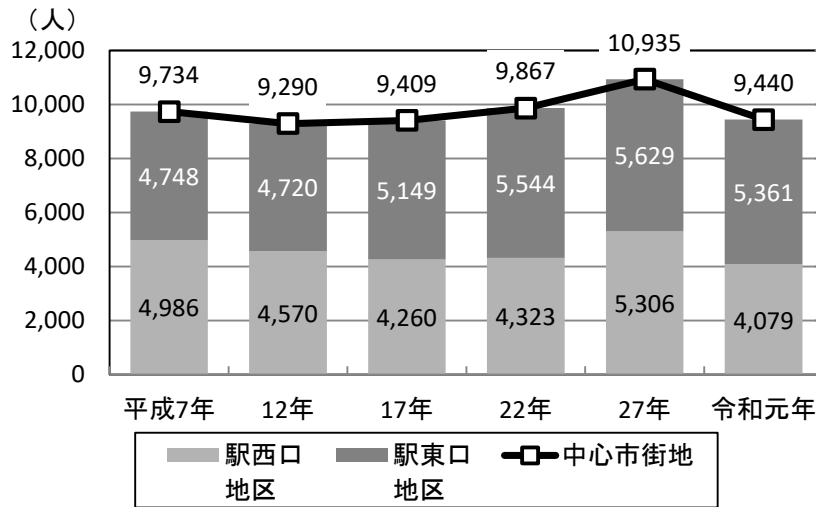
資料：国勢調査（各年10月1日現在） ※令和 2（2020）年は栃木県毎月人口調査  
(総数には年齢不詳を含むため、年齢別構成の合計は100%に一致しない場合があります。)

③中心市街地（駅西口地区、駅東口地区）※の人口

中心市街地の人口は、平成27（2015）年まで増加傾向にあったが、令和元（2019）年には減少に転じ、平成7（1995）年と比べると約3%減少している。また、平成7（1995）年では、駅東口地区の人口より、駅西口地区の人口の方が多かったが、それ以降は駅東口地区の人口の方が多くなっている。

■グラフー中心市街地（駅西口地区、駅東口地区）の人口

※ 駅西口地区：本郷町1～3丁目、城山町1～3丁目、中央町1～3丁目、宮本町1～3丁目  
 駅東口地区：駅東通り1～2丁目、三峯1～2丁目、城東1丁目

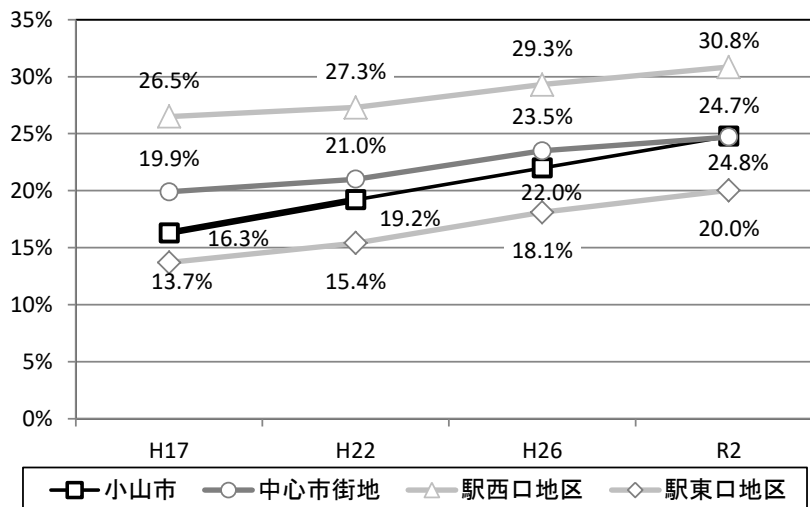


平成7、12、17、22、27年は国勢調査、その他は住民基本台帳(いずれも10/1現在)

④中心市街地（駅西口地区、駅東口地区）の高齢化率

高齢化率は、経年的に概ね増加傾向にある。また、概ね、駅東口地区は5人に1人、駅西口地区は3人に1人が高齢者という状況にある。

■グラフー中心市街地（駅西口地区、駅東口地区）の高齢化率



※平成17年は第1期計画書より抜粋、平成19、22、26年は小山市町別・年齢別人口統計表

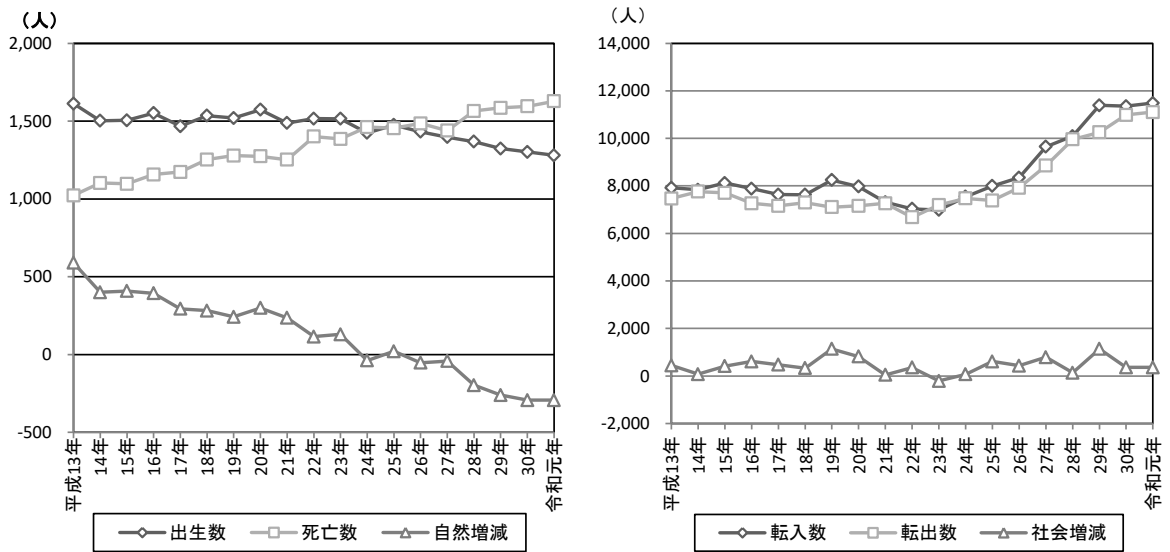
### (3) 人口動態等

#### ①自然増減

本市の平成13(2001)年から令和元(2019)年までの自然増減・社会増減の推移を見ると、自然増減では、出生数は減少傾向にある一方、死亡数は増加傾向となっているため、自然増は減少傾向になっており、平成24(2012)年ではマイナスに転じた。

また、社会増減では、おおむね転入が転出を上回る傾向が続いていたが、平成23(2011)年にマイナスに転じたが、平成24(2012)年で再びプラスに転じた。

#### ■グラフー自然増減・社会増減の推移



資料：小山市統計年報（令和元年度版）

#### ②昼夜間人口

本市の平成2(1990)年から平成27(2015)年までの昼夜間人口の推移を見ると、ともに経年的に増加傾向にある。また、昼夜間人口比の推移を見ると、いずれの年も1.0程度の値となっており、昼間人口の方がわずかながら上回っている。

#### ■表一昼夜間人口及び昼夜間人口比率の推移

(単位：人)

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
夜間人口	142,120	149,939	154,985	160,022	164,454	166,760
昼間人口	145,141	154,980	159,711	161,774	166,226	166,882
昼夜間人口比	1.02	1.03	1.03	1.01	1.01	1.00

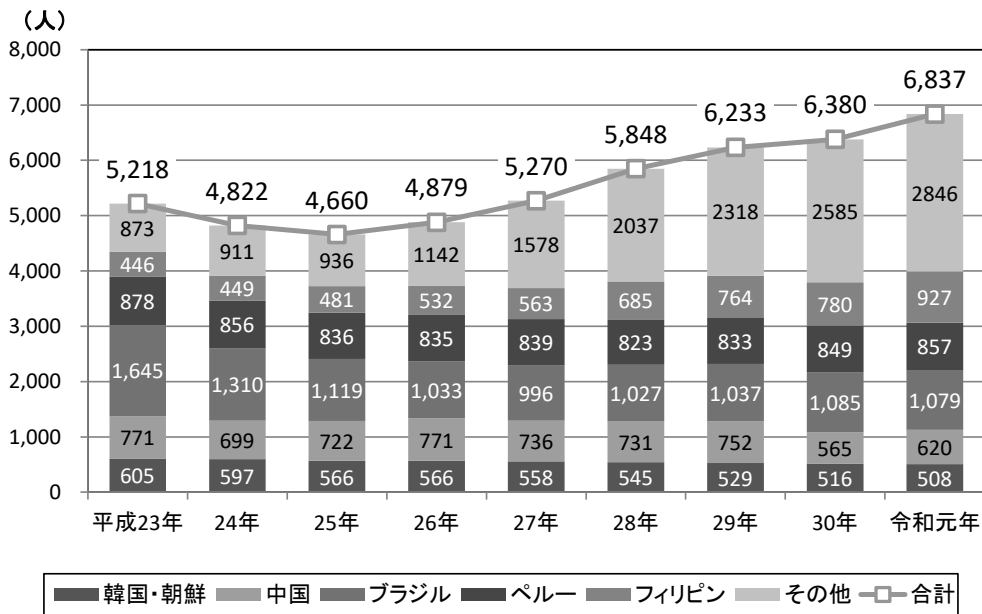
資料：国勢調査（各年10月1日現在）

(4) 在留外国人数

本市の平成23(2011)年から令和元年までの在留外国人数の推移を見ると、平成25(2013)年までは減少傾向であったが、その後、増加傾向となっている。

その他を除く国別で見ると、ブラジルが最も多く、次いでペルー、フィリピンなどとなっている。

■ グラフー在留外国人数の推移

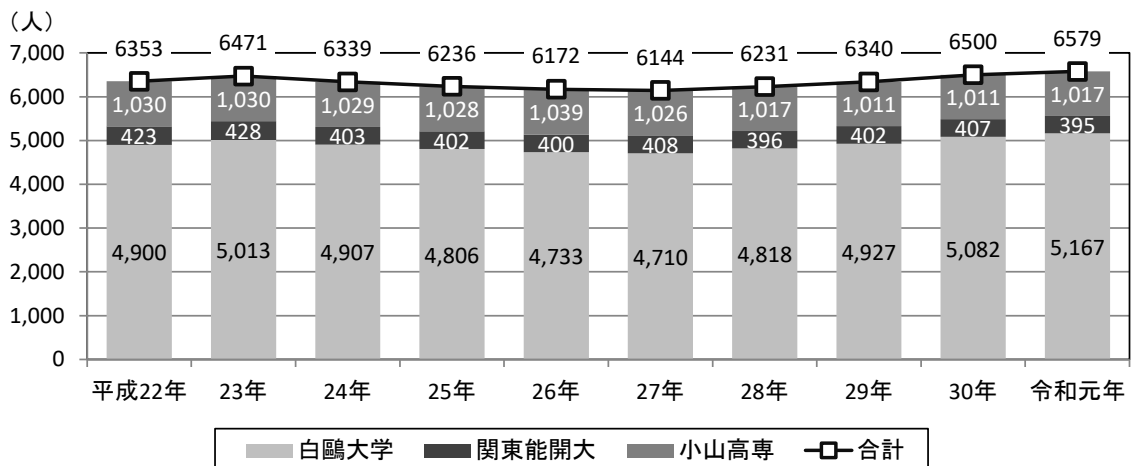


資料：小山市統計年報

(5) 学生数

本市の学生数の推移を見ると、大学・高専の在籍学生数（合計）は増加傾向にあり、令和元(2019)年には、6,579人となっている。

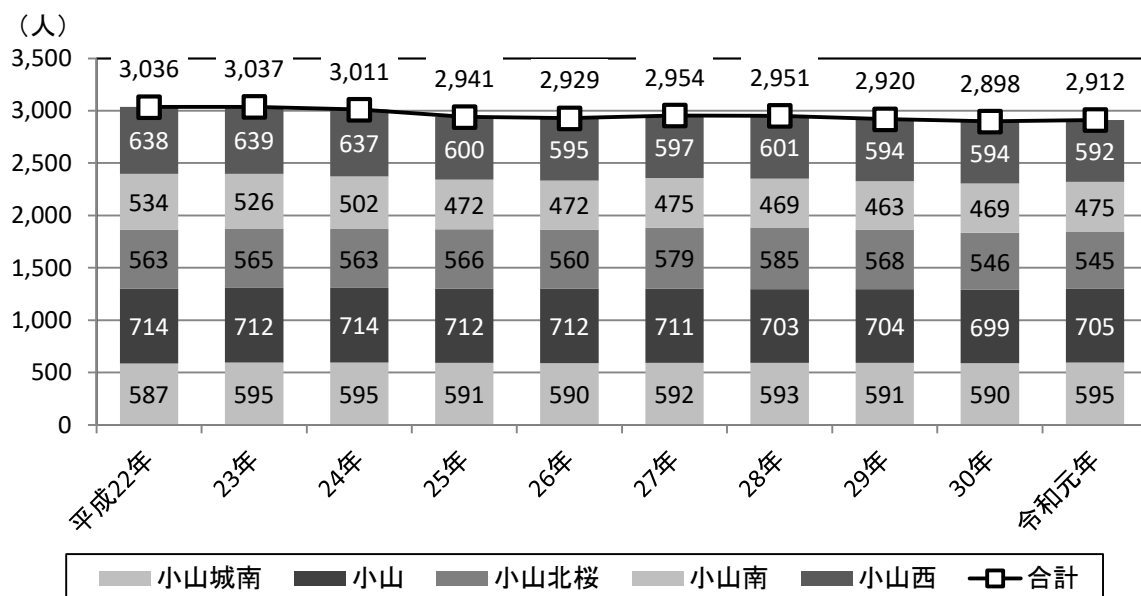
■ グラフー大学・高専学生数の推移



資料：小山市統計年報

高校の在籍学生数（合計）の推移を見ると、平成 30（2018）年までは減少傾向であったが、その後増加に転じており、令和元（2019）年では 2,912 人となっている。

■ グラフー 高校学生数の推移

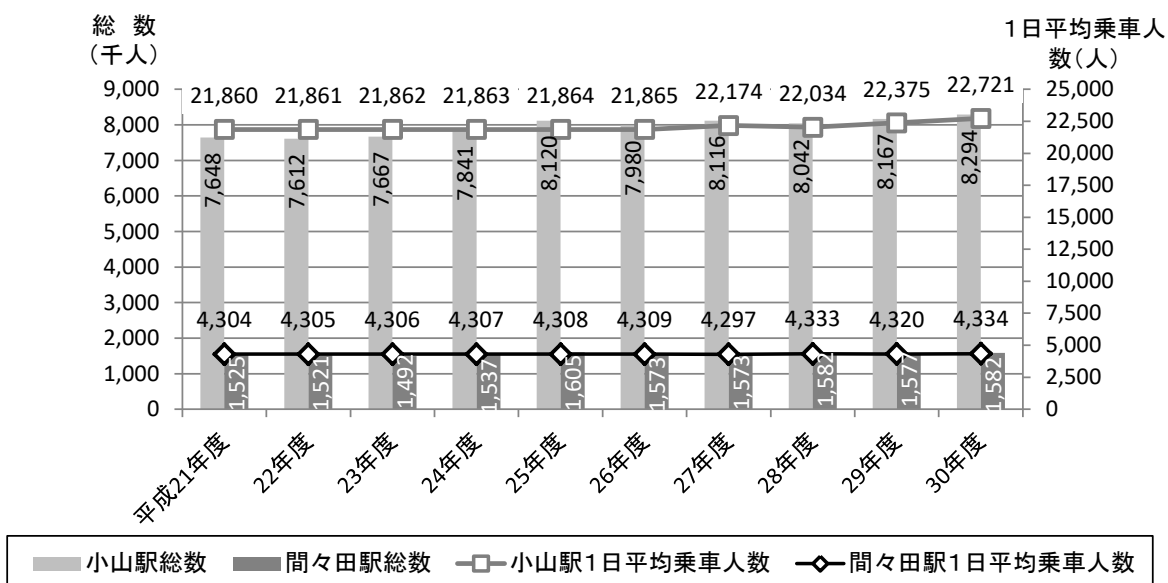


資料：小山市統計年報

(6) 鉄道駅利用状況

小山駅と間々田駅の乗車人員総数は、各年共に概ね 5 倍程度の差となっている。1 日平均乗車人員についても同様である。

■ グラフー 小山駅と間々田駅の乗車人員の推移



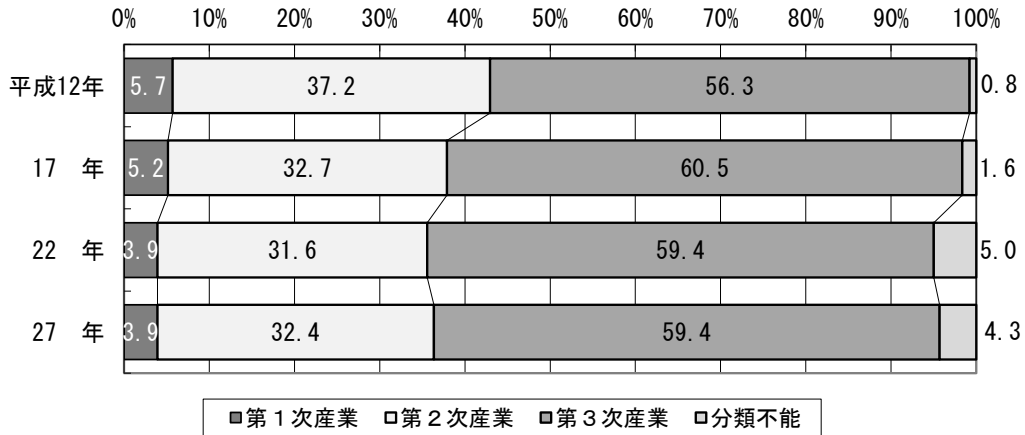
資料：小山市統計年報



(7) 就業構造

本市の平成12(2000)年から平成27(2015)年までの産業別就業人口割合の推移を見ると、第3次産業人口の割合が最も高く、平成27(2015)年では市全体の約6割を占めている。

■ グラフー産業別就業人口割合の推移



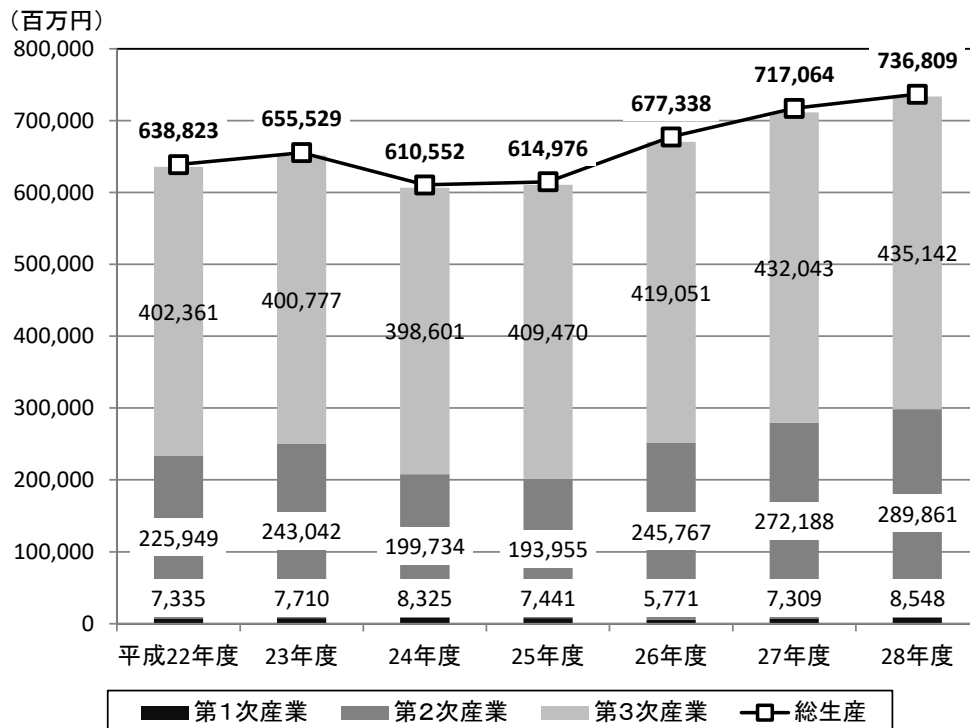
資料：国勢調査

(8) 市内総生産、産業別総生産の動向

市内総生産の動向を見ると、平成24(2012)年度に減少して以降は、経年的に増加傾向となっている。

産業別割合も同様に、平成24(2012)年度以降は、概ね増加傾向となっている。

■ グラフー市内総生産、産業別総生産の推移



資料：とちぎの市町村民経済計算（平成28年度）

## (9) 事業所の状況

### ① 栃木県地域別事業所(民営)数、従業者数の比較

事業所数では、栃木市を除き、横ばいまたは減少傾向である。

また、本市では、平成 28 (2016) 年は約 7,000 箇所であり、県内主要都市中、宇都宮市、足利市、栃木市に次いで 4 番目である。平成 24 (2012) 年からは概ね横ばいとなっている。

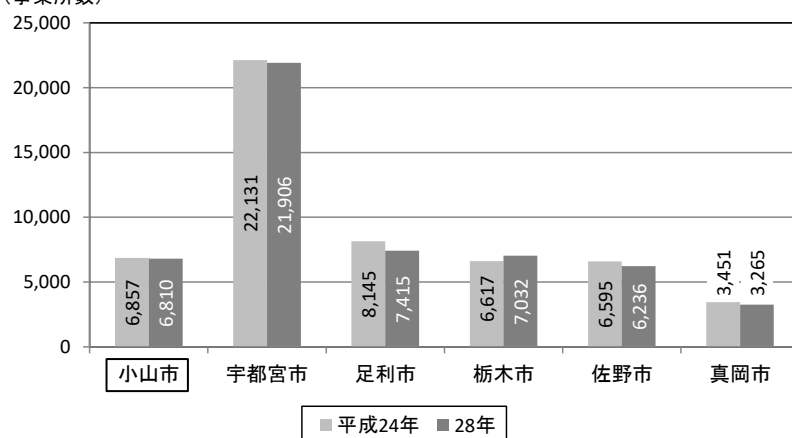
一方、従業者数では、平成 24 (2012) 年からは約 7% の増加となっており、宇都宮市に次いで 2 番目の約 78,000 人となっている。

■表・グラフー栃木県地域別事業所(民営)数、従業者数の比較

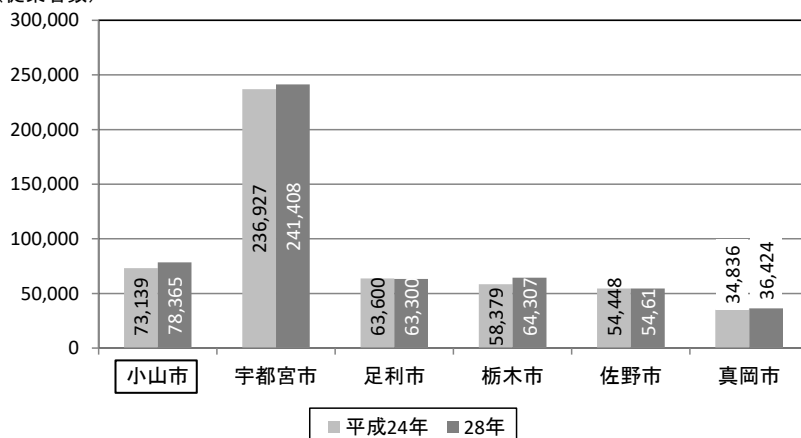
	平成24年		28年	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業員数
小山市	6,857	73,139	6,810	78,365
宇都宮市	22,131	236,927	21,906	241,408
足利市	8,145	63,600	7,415	63,300
栃木市	6,617	58,379	7,032	64,307
佐野市	6,595	54,448	6,236	54,618
真岡市	3,451	34,836	3,265	36,424
合計	53,796	521,329	52,664	538,422
県計	89,194	865,025	86,088	878,756

※事業内容等不詳の事業所は含まない

(事業所数)



(従業者数)



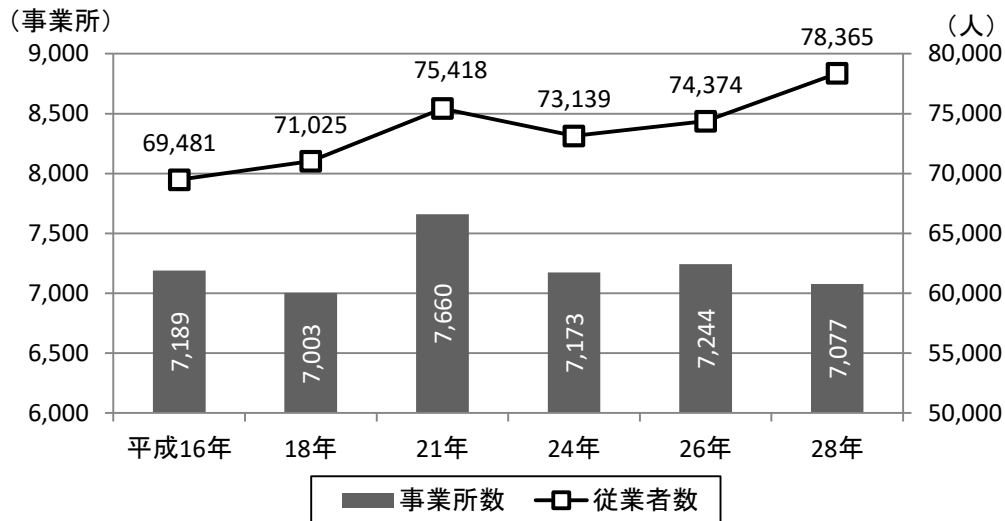
資料：栃木県統計年鑑 平成25年度版、平成30年度版

②小山市事業所数、従業者数の比較

事業所数では、平成24(2012)年以降はほぼ横ばいとなっており、従業者数では、平成24(2012)年以降は増加傾向となっている。

■表・グラフー小山市事業所数、従業者数の推移

年別	事業所数		従業者数	
	総数(箇所)	指数	総数(人)	指数
平成16年	7,189	100	69,481	100
18年	7,003	97	71,025	102
21年	7,660	107	75,418	109
24年	7,173	100	73,139	105
26年	7,244	101	74,374	107
28年	7,077	98	78,365	113



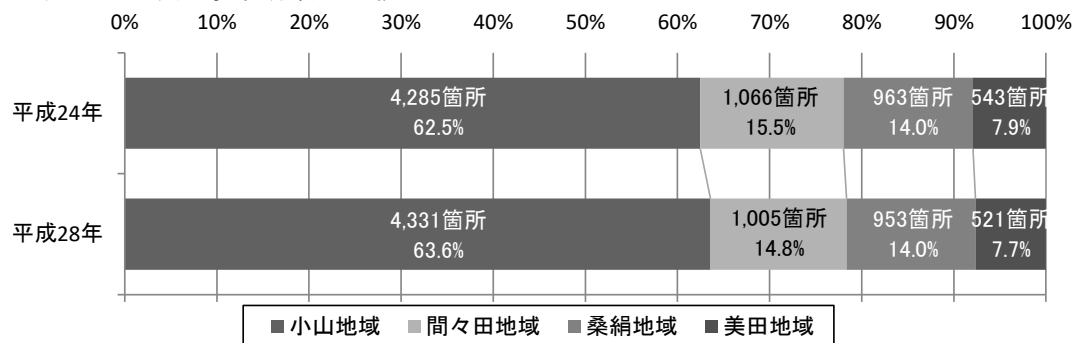
※事業内容等不詳の事業所を含む

資料：小山市統計年鑑 令和元年度版

③小山市地域別事業所数（民営）の比較

全域的には減少傾向であるが、小山地域のみ増加傾向である。

■グラフー地域別事業所数の比較



資料：平成24年、平成28年経済センサス活動調査結果（確報）小山市の結果の概要

産業別では「R. その他のサービス業」を除き、平成24（2012）年と比較し最も増加したのが、「P. 医療・福祉」で238増加し639事業所となっており、次いで、「M. 宿泊業、飲食店サービス業」で35増加し875事業所となっている。

一方、最も減少したのが、「E. 製造業」で76減少し、513事業所となっており、次いで「I. 卸・小売業」で47減少し、1724事業所となっている。

■表一地域別及び従業者規模別、産業別事業所数の比較

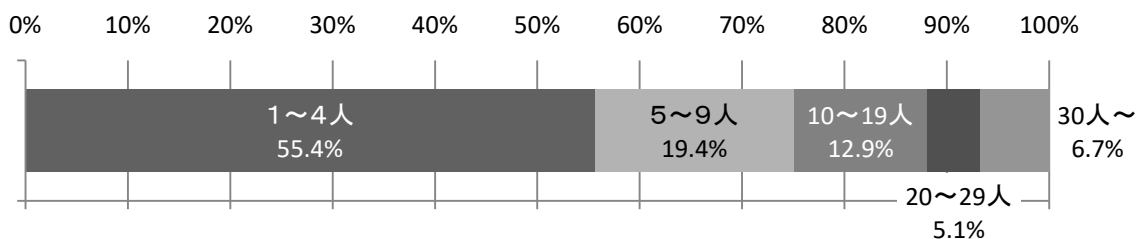
	小山市全域		小山地域		間々田地域		美田地域		桑絹地域	
	平成24年	平成28年	平成24年	平成28年	平成24年	平成28年	平成24年	平成28年	平成24年	平成28年
総数	6857	6810	4285	4331	1066	1005	543	521	963	953
(構成比)	100.0%	100.0%	62.5%	63.6%	15.5%	14.8%	7.9%	7.7%	14.0%	14.0%
(従業者規模別)										
1～4人	3920	3770	2441	2377	649	602	327	305	503	486
5～9人	1364	1321	867	858	202	183	96	91	199	189
10～19人	827	881	499	561	122	118	65	66	141	136
20～29人	309	348	195	227	50	47	31	28	33	46
30人～	420	459	270	284	42	52	23	31	85	92
派遣・下請け従業者のみ	17	31	13	24	1	3	1	0	2	4
(産業別)										
AB 農林漁業	26	32	4	3	6	8	10	13	6	8
C 鉱業	2	1	0	0	0	0	2	1	0	0
D 建設業	677	666	307	326	160	152	67	61	143	127
E 製造業	589	513	207	189	164	130	57	54	161	140
F 電気・ガス・熱供給・水道	5	9	3	6	0	0	0	2	2	1
G 情報・通信業	64	64	54	54	3	4	2	2	5	4
H 運輸業	154	155	71	72	21	20	17	17	45	46
I 卸・小売業	1771	1724	1118	1068	241	215	160	160	252	281
J 金融・保険業	125	123	101	101	11	9	5	4	8	9
K 不動産業、物品賃貸業	696	665	538	519	99	96	36	31	23	19
L 学術研究、専門技術サービス業	240	246	172	181	27	25	16	17	25	23
M 宿泊業、飲食店サービス業	840	875	644	650	66	69	43	42	87	114
N 生活関連サービス業、娯楽業	632	643	426	441	96	94	39	36	71	72
O 教育、学習支援業	226	236	158	163	38	31	13	16	17	26
P 医療・福祉	401	639	266	342	63	85	21	23	51	189
Q 複合サービス事業	34	41	15	12	8	8	6	7	5	14
R その他のサービス業	375	512	201	204	63	59	49	35	62	214

※総数には事業内容等不詳の事業所は含まない

資料：平成24年、平成28年経済センサス活動調査結果（確報）小山市の結果の概要  
平成18年事業所・企業統計調査結果

平成28（2016）年の従業者規模別事業所数の割合を見ると、1～4人の事業所は5割以上（55.4%）であり、5～9人の事業所の約2割（19.4%）とあわせ、10人未満の事業所は7割（74.8%）以上となっている。

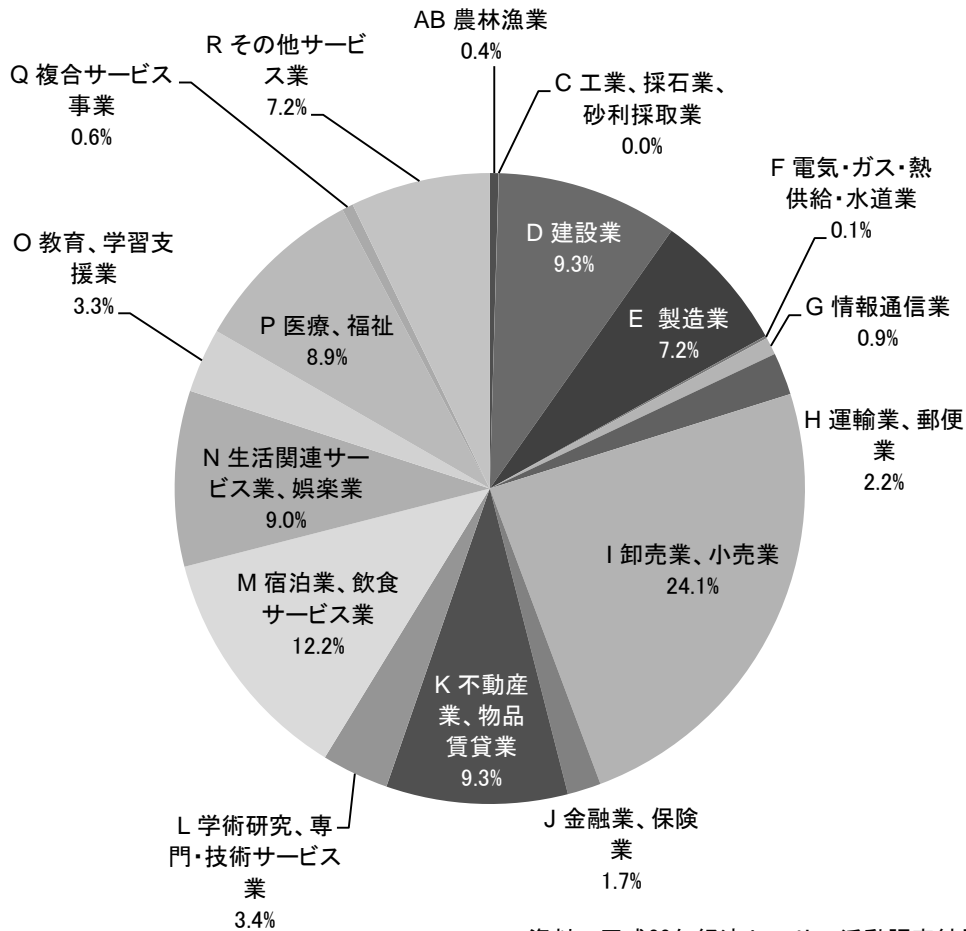
■グラフー平成28年従業者規模別、事業所数



資料：平成24年、平成28年経済センサス活動調査結果（確報）小山市の結果の概要  
平成18年事業所・企業統計調査結果

平成28(2016)年の産業別事業所数の割合を見ると、「I. 卸・小売業」が最も多く、2割強(24.1%)で、次いで、「M. 宿泊業、飲食店サービス業」が1割強(12.2%)、「D. 建築業」「K. 不動産業、物品賃貸業」が約1割(9.3%)となっている。

■ グラフー平成28年産業別、事業所数



資料：平成28年経済センサス活動調査結果

## 2-2. 小山市の商業・観光の現状

### (1) 小山市の商業の推移

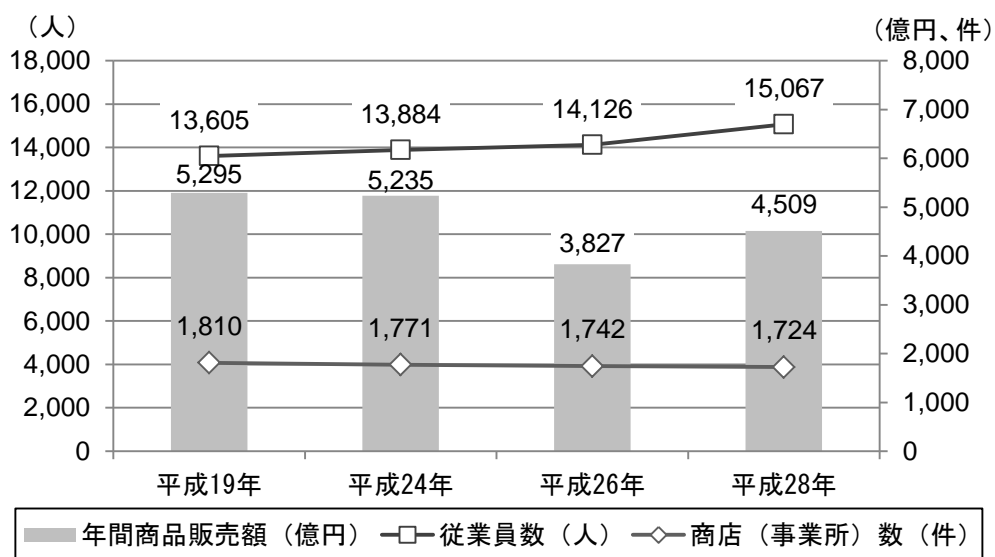
#### ① 商店数、従業員数、年間商品販売額の推移

本市の近年の商店数、従業員数、年間商品販売額の状況は、次のとおりである。

商店数は減少傾向にあるが、増減率ではその傾向が弱まっている。

従業員数は経年的に増加傾向にあり、年間商品販売額も平成28（2016）年で増加に転じた。

■表・グラフ 小山市における近年の商店数等の推移



資料：平成19、26年は商業統計調査、平成19、24、28年は経済センサス活動調査

②人口一人あたり年間商品販売額等県内主要都市との比較

人口一人あたり年間商品販売額及び売り場面積1㎡あたり年間商品販売額は、宇都宮市が他都市から突出しており、商業集客力・販売力が強くなっている。

宇都宮市の人口一人あたり年間商品販売額は、本市の約1.9倍、売り場面積1㎡あたり年間商品販売額は、約1.7倍と大きな差がある。

本市は、人口一人あたりの年間消費販売額では宇都宮市、佐野市に次ぐ値となっており、他都市に比べると商業的な力を持っていると言える。

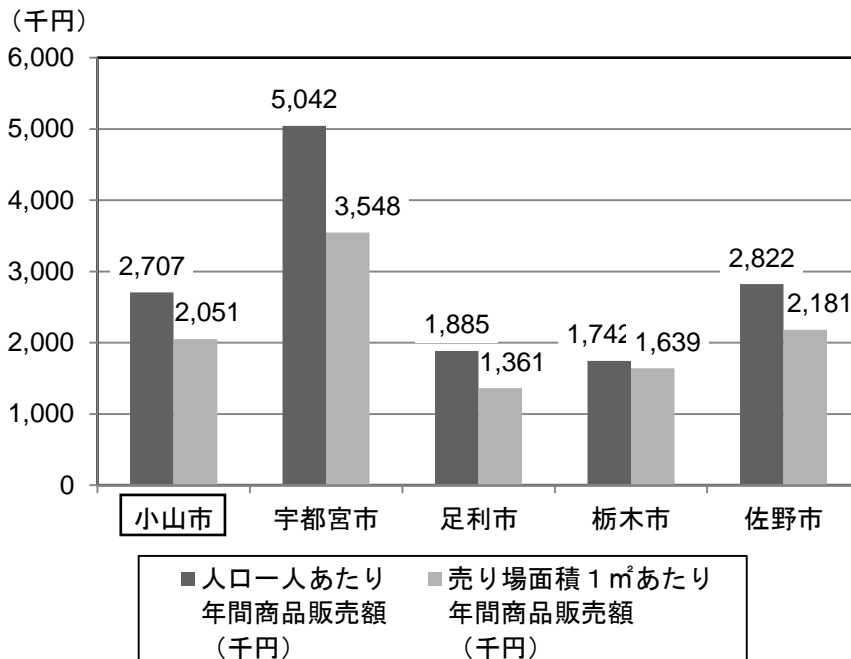
一方で、人口一人あたりの売り場面積を見ると、最も高い値となっているのは宇都宮市で、約1.42㎡/人となっている。本市は約1.32㎡/人と宇都宮市より若干低い値となっている。

■表・グラフー人口一人あたり年間商品販売額等県内主要都市との比較

市	人口(*)	人口一人あたり年間商品販売額(千円)	売り場面積1㎡あたり年間商品販売額(千円)	人口一人あたり売り場面積(㎡/人)
小山市	166,575	2,707	2,051	1.32
宇都宮市	518,545	5,042	3,548	1.42
足利市	148,913	1,885	1,361	1.39
栃木市	163,131	1,742	1,639	1.06
佐野市	120,683	2,822	2,181	1.29

資料：平成28年経済センサス活動調査結果

\*人口は各自治体毎月人口調査より



## (2) 小売店舗の立地状況

### ①大規模店舗の立地状況

本市に立地する大型店舗（売り場面積 1,000 ㎡超）の立地状況は次のとおりである。令和 3 年 3 月時点で合計 46 店舗が立地し、売り場面積の合計は約 23 万㎡となっている。

大型店舗面積は経年的に増加傾向にあり、また、店舗数については平成 17（2005）年から 19（2007）年にかけて若干減少したものの、平成 26（2014）年で一転して増加し、近年大型店舗の立地が進行しているものと言える。

大型店舗の立地分布を見ると、それらの多くが小山駅東部と南部に多く立地しているほか、国道 4 号や国道 50 号沿道への立地が見られる。

業態別では、食品スーパーの立地が 16 店舗と最も多く、全大型店舗の 3 割強を占めている。次いで総合スーパー、ドラッグストアが 5 店舗となっている。

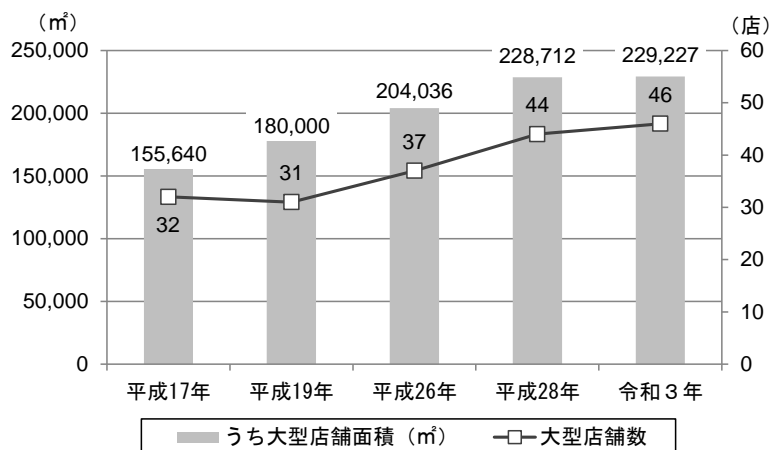
■表・グラフー市内大型店舗面積等

	売り場面積 (㎡)	うち大型店舗面積 (㎡)	大型店の 占める割合	大型店舗数
平成17年	282,798	155,640	55.0%	32
平成19年	250,477	(※1) 180,000	71.9%	31
平成26年	データなし	204,036	—	37
平成28年	データなし	228,712	—	44
令和3年	データなし	(※2) 229,227	—	46

資料：小山市商業観光課

(※1) 平成19年の大型店舗面積は、集計データがないため平成25年現在のデータから推計

(※2) 令和3年のデータは令和3年3月現在



■表ー業態別店舗数（令和3年3月現在）

業態	店舗数	業態	店舗数
食品スーパー	16	家具	3
総合スーパー	5	複合商業施設	2
ドラッグストア	5	ゲーム・CD・書籍等	2
家電	4	百貨店形式専門店	1
ホームセンター	3	玩具・子供用衣料	1
衣料品・靴等	3	スポーツ用品	1
		合計	46



■表一 市内立地大型店舗一覧（開店時期順、令和3年3月現在）

NO.	店舗名	所在地	業態	店舗面積 (㎡)	開店時期
1	カワチ薬品小山東店	犬塚2-16-4 外	ドラッグストア	1488	1993.5
2	東京インテリア家具小山店	神鳥谷273-4	家具	2994	1993.6
3	とりせん小山東店	横倉新田291-1	食品スーパー	2999	1994.4
4	VAL(小山駅ビル)	城山町3-3-22	専門店	8734	1994.5
5	ロブレ	中央町3-7-1	百貨店形式専門店	30752	1994.6
6	マルエツ小山店	西城南6-5-1	食品スーパー	2300	1995.11
7	マルヤ小山店	西城南4-1-26	食品スーパー	1297	1995.2
8	トイザラス小山店	神山2-9-33	玩具・子供用衣料	3000	1995.3
9	ケーヨーデイツー小山店	東城南5-26-3	ホームセンター	2474	1995.3
10	ロイヤルホームセンター小山店	西城南3-1-9	ホームセンター	3598	1996.3
11	HEART MARKET(ハートマーケット)小山店	西城南3-18-6	衣料品・靴	1160	1996.4
12	たいらや間々田店	東間々田3-4-35	食品スーパー	1938	1996.11
13	ヤオハン城東店	城東6-1-30	食品スーパー	1534	1996.11
14	イオン小山店(ジャスコ小山東SC)	中久喜1467-1	総合スーパー	28816	1997.4
15	スポーツスポーツゼビオ小山店	駅南町2-30-2	スポーツ用品	3868	1997.6
16	スーパーフレッシュ小山店	城北6-5-6	食品スーパー	1434	1997.7
17	サンキ小山店	塚崎1507-15	衣料品	2719	1997.11
18	PCデポ小山本店	中久喜1219-1	家電・ドラッグ・書籍	2639	1998.7
19	ワンダーゲー小山店	東城南4-7	ゲーム・CD・書籍	1337	2003.6
20	とりせん美しが丘店	美しが丘1-2-3	食品スーパー	3368	2002.8
21	ヤマダ電機テックランド小山店	駅東通り2-3-8	家電	3640	2003.1
22	マルシェ小山店	神鳥谷834-1	食品スーパー	1213	2004.9
23	小山羽川ショッピングモール	喜沢647-1	食品スーパー	3790	2004.1
24	たいらや小山犬塚店	犬塚8-6-3	食品スーパー	1380	2005.3
25	コジマNEW小山店	駅南町6-13-4	家電	3371	2005.3
26	おやまゆうえんハーヴェストウオーク	喜沢1475	複合商業施設	36932	2007.3
27	ウエルシア薬局小山城東店	城東3-23-4	ドラッグストア	1336	2010.12
28	たいらや小山本郷店	本郷町3-1001-1	食品スーパー	2846	2010.10
29	スーパーセンタートライアル小山店	喜沢649-2	総合スーパー	6832	2012.9
30	ヨークタウン雨ヶ谷店	雨ヶ谷880	食品スーパー・ドラッグ	3245	2012.11
31	ニトリ小山店	喜沢1223-11	家具	4985	2013.2
32	フードオアシスオータニ小山店	城東6-5-12	食品スーパー	1618	2013.9
33	小山城南ファッションモール	西城南2-29-1	衣料品	1999	2014.3
34	ケーズデンキ小山店	雨ヶ谷12	家電	4985	2014.5
35	カワチ薬品東城南店	東城南1-33-1	ドラッグストア	1230	2014.9
36	カワチ薬品小山駅東通り店	稲葉郷1037	ドラッグストア	1457	2015.6
37	ガラクタ鑑定団小山総本店	犬塚50-66	ゲーム・CD・リサイクル	3584	2015.4
38	カワチ薬品小間々田店	間々田2419 外	ドラッグストア	1459	2015.9
39	とりせん小山土塔店	小山東部第一土地区画整理事業27 街区15画地	食品スーパー	1734	2016.4
40	かましん小山天神町店	天神町1-269-1	食品スーパー	2010	2016.8
41	カインズ小山店	小山栃木都市計画事業思川西部土 地区画整理事業5街区1 外	ホームセンター	8245	2016.11
42	ベイシアスーパーマーケット小山店	立木934-1	総合スーパー	6187	2016.12
43	フォルテ間々田	美しが丘1-19-1	総合スーパー 他	6908	2018.10
44	トライアル小山美しが丘店	美しが丘1-19-3	総合スーパー 他	4133	2019.4
45	かましん間々田店	乙女3-265	食品スーパー	1459	2020.7
46	ビッグウッド小山店	中久喜1213-1	家具	4200	2021.2

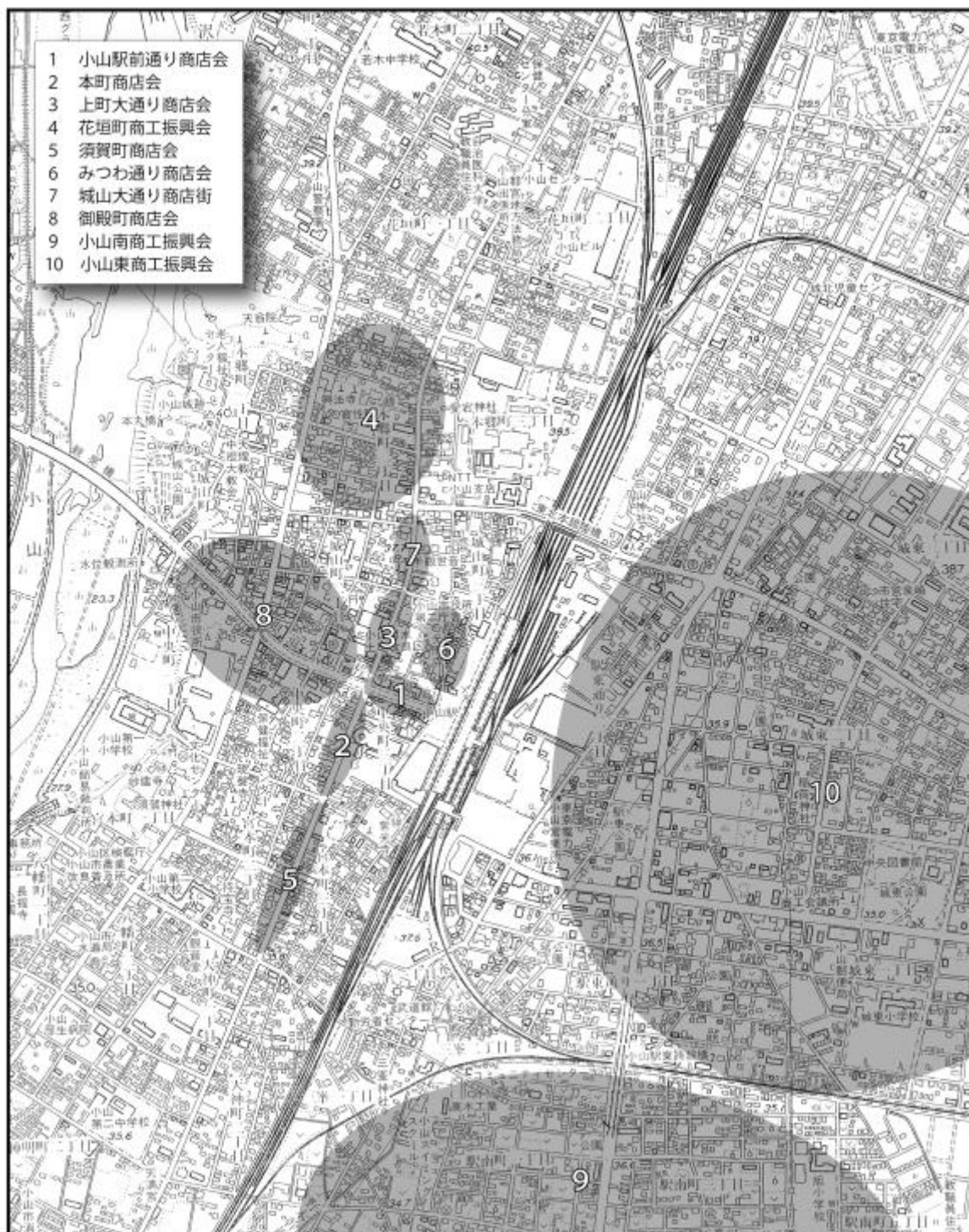
資料：小山市商業観光課

■ 図一 市内大型店舗立地分布（業態別）



②商店街の状況

■図一 商店会分布図

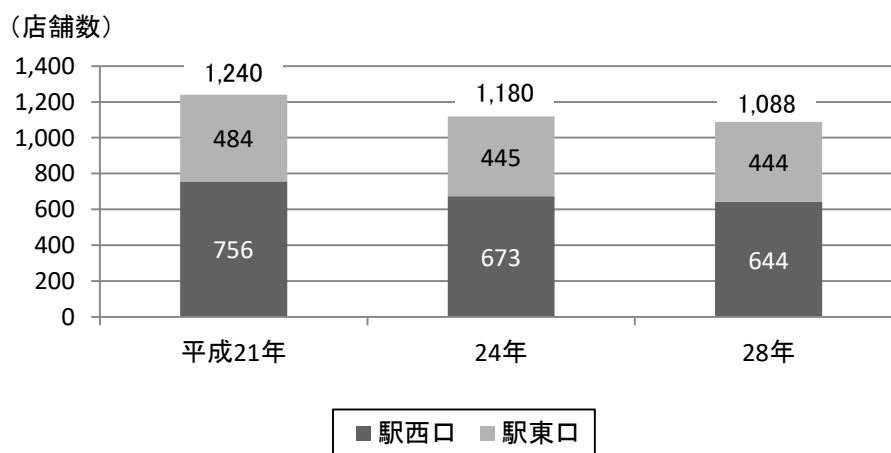


### ③ 中心市街地における商店等の現況

中心市街地における店舗数を見ると、駅西口地区、駅東口地区ともに、経年的に減少傾向にある。

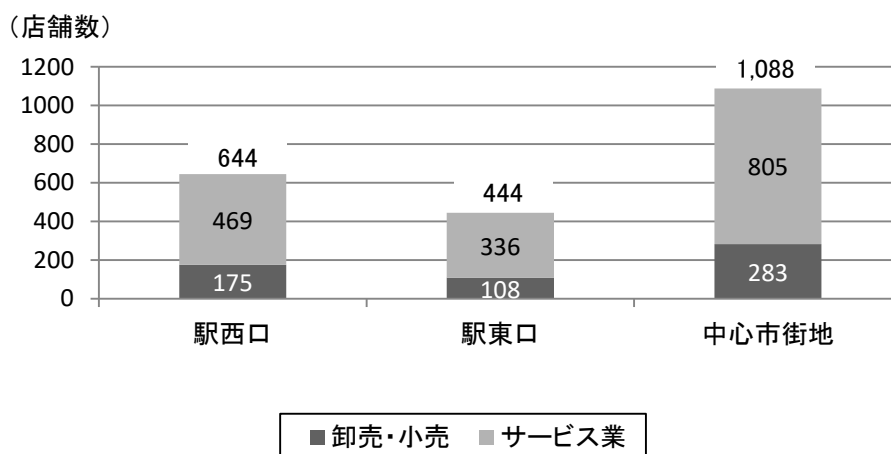
また、平成 28（2016）年における内訳を見ると、卸売業・小売業、サービス業ともに駅西口地区の方が、駅東口地区より多く立地しており、特にサービス業は小売店舗の 2 倍以上立地している状況にある。一方、駅東口地区では、サービス業が小売店舗の約 3 倍立地している。

#### ■ グラフー中心市街地（駅西口地区、駅東口地区）店舗数の推移



資料: 経済センサス(平成21年は基礎調査、24、28年は活動調査)

#### ■ グラフー平成 28 年中心市街地（駅西口地区、駅東口地区）の店舗数内訳



資料: 経済センサス活動調査

(3) 観光客入込数、宿泊数の推移

①観光客入込数・宿泊数の推移

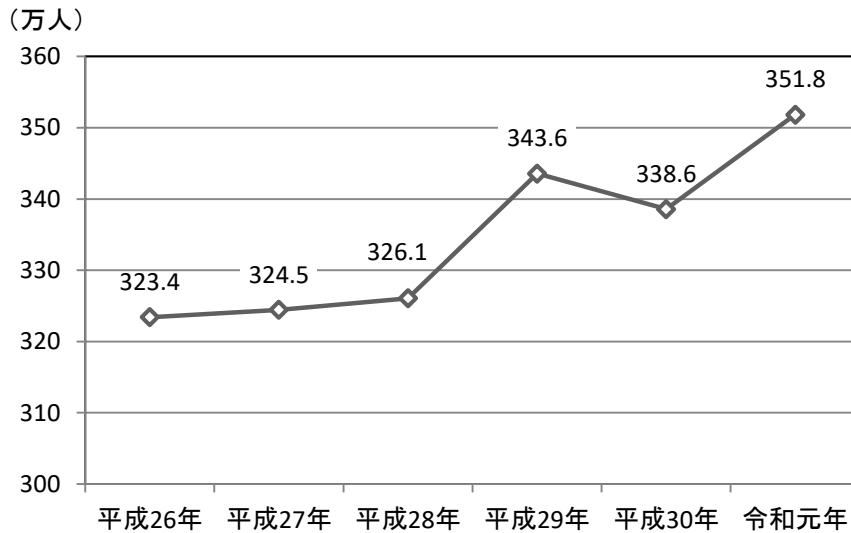
本市の平成26(2014)年から令和元(2019)年にかけての観光客入込数及び宿泊数の推移は以下のとおりである。

観光客入込数の推移を見ると、平成30(2018)年に一度減少したものの、5ヵ年で見ると経年的に増加しており、令和元(2019)年では約350万人となっている。

宿泊数の推移を見ると、平成30(2018)年に一度減少したものの、5ヵ年で見ると経年的に増加し、令和元(2019)年では9,201人となっている。

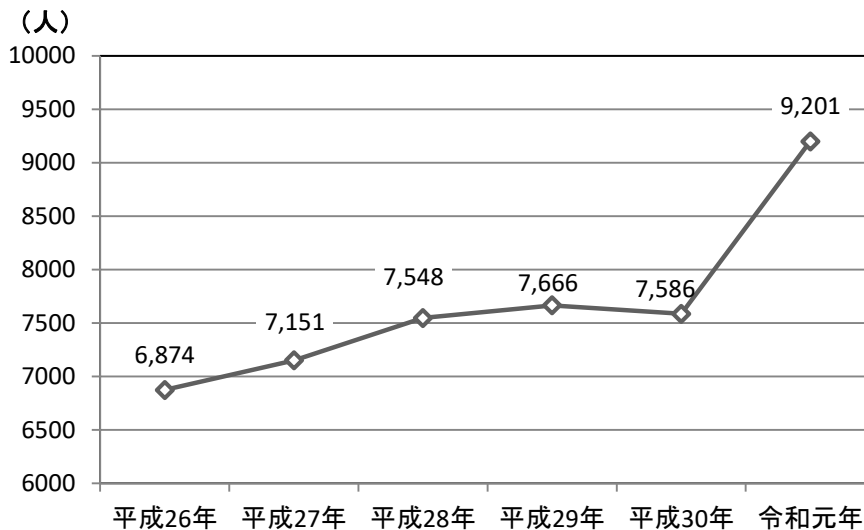
また、平成30(2018)年から令和元(2019)年にかけて、観光客入込数、宿泊数ともに大きく増加しており、同時期にJRグループにて開催された栃木デスティネーションキャンペーンに伴う全国規模でのPRや、インバウンド需要の拡大による外国人観光客の増加などが影響しているものと思われる。

■グラフー小山市の観光客入込数の推移



資料：栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果

■グラフー小山市の観光客宿泊数の推移



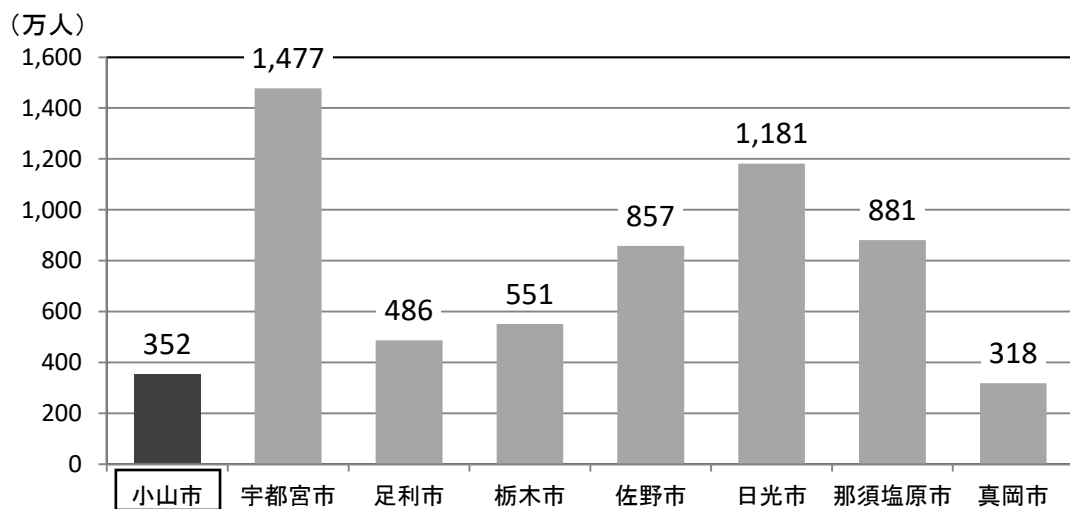
資料：栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果

## ②県内主要都市との比較

県内の主要都市と本市の令和元（2019）年の観光客入込数及び宿泊数を比較すると、観光客入込数では、宇都宮市や日光市、那須塩原市などが県内では特に多く、観光都市としての性格の強さがうかがえる。

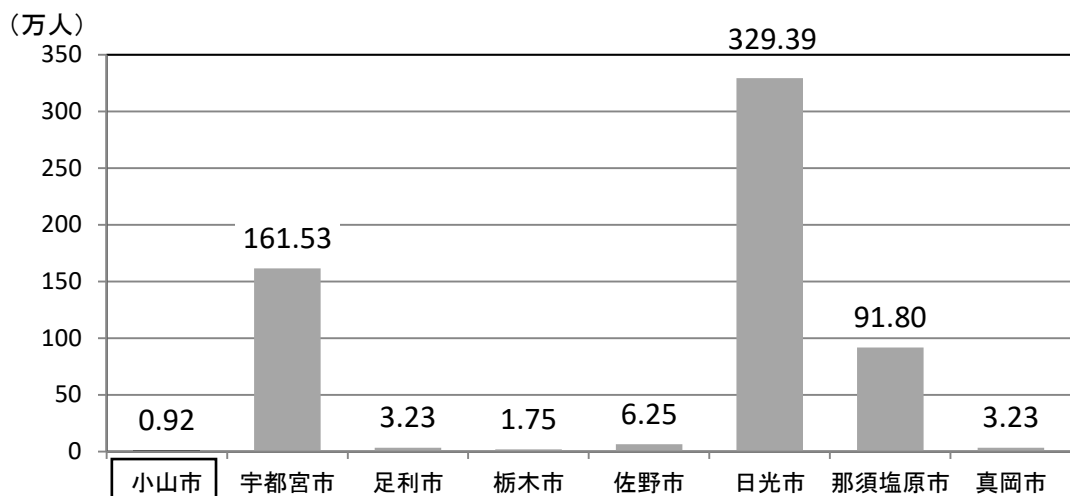
同様に宿泊数の比較においても、日光市、宇都宮市、那須塩原市が他都市を大きく上回っている。特に本市の宿泊数においては、他都市に比べ非常に少ない値となっており、要因としては、本市は東京等都市圏からの距離が近いことから、市内における宿泊数が少ないためと考えられる。

### ■グラフー県内主要都市の観光客入込数比較



資料：栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果

### ■グラフー県内主要都市の宿泊数比較



資料：栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果

(4) イベント実施状況

①小山市のイベントについて

おやま二千本桜まつり、おやまサマーフェスティバル等、季節毎に各所でイベントが行われている。また、間々田のじゃがまいた、寒川地区の花桶かつぎ、血方神社太々神楽などの伝統行事も各地で行われている。



■寒川地区の花桶かつぎ



■渡良瀬遊水地 ヨシ焼き



■おやま二千本桜まつり



■血方神社太々神楽



■おやま思川ざくらマラソン



■間々田のじゃがまいた



■おやまバルーンフェスタ



■おやま酒蔵まつり



■おやまサマーフェスティバル



■小山きもの日



■思川の流しびな



■菊花大会

■表一 小山市の主なイベント

開催時期	イベント名	運営形態	主催	事務局
1月	小山の初市(だるま市)	行政	小山の初市実行委員会	市商業観光課
3月	渡良瀬遊水地ヨシ焼き	行政	渡良瀬遊水地ヨシ焼き連絡会	市渡良瀬遊水地ラムサール推進課
3~4月	おやま二千本桜まつり	民間①	おやま二千本桜まつり実行委員会	(一社)小山市観光協会
3~4月	各地区さくらまつり	民間②	実行委員会	各公民館等
4月	ラーメンまつり	民間③	実行委員会	実行委員会
4月	駅からハイキング	民間③	駅からハイキング事務局	JR東日本(小山駅等)
4月	ほろ酔い思川桜ナイト	民間①	おやま思川桜まつり事務局	市商業観光課
4月	おやま思川ざくらマラソン大会	行政	同マラソン大会実行委員会	市生涯スポーツ課
4~5月	思川桜フォトコンテスト	行政		市商業観光課
4~5月	鯉のぼり群遊	民間①	(一社)小山市観光協会	(一社)小山市観光協会
5月	思川のおゆ解禁	民間①	下都賀漁業協同組合	(一社)小山市観光協会
5月	おやまブランドまつり	民間①	おやまブランドまつり実行委員会	榊小山ブランド思川
6月	ステージ城東フェスタ	民間②	ステージ城東実行委員会	自治会
6月	おやま田んぼアート田植え体験	行政	おやま田んぼアート実行委員会	市農村整備課
6月	おさかなワイワイ大作戦・ツアー	行政	市渡良瀬遊水地ラムサール推進課	市渡良瀬遊水地ラムサール推進課
6月	おやま地産地消・食育フェア	行政	おやま地産地消・食育フェア実行委員会	市農政課
6月	ほたるの館まつり	行政	ほたるの館まつり実行委員会	市水と緑の推進課
6月	おやま酒蔵まつり	民間①	実行委員会	(一社)小山市観光協会
6月	さくら道まつり	行政	さくら道まつり実行委員会	市新都市整備推進課
6月・11月	小山御殿広場ピクニックマルシェ	民間③	ピクニックマルシェ実行委員会	まちの駅
7月	おやまサマーフェスティバル	行政	おやまサマーフェスティバル実行委員会	市商業観光課
7月	おやま田んぼアート見学会	行政	おやま田んぼアート実行委員会	市農村整備課
7月	おやま思川アユ祭り	行政	おやま思川アユまつり実行委員会	市都市計画課
7月	フェスタin鬼怒川	行政	実行委員会(鬼怒川河川敷有効利用促進協議会が中心)	市治水対策課
7月	小山祇園祭	民間③	小山祇園祭実行委員会	小山商工会議所/(一社)小山市観光協会
7月	思川の流しびな	民間③	思川の流しびな保存会	(一社)小山市観光協会
8月	開運盆おどり	民間①	榊小山ブランド思川	榊小山ブランド思川
8月	寺野東遺跡縄文まつり	行政	寺野東遺跡縄文まつり実行委員会	市文化振興課
9月	マンジュシャゲまつり	地域	間々田商工会	間々田商工会
9月	小山の日本一ビールまつり	民間①	実行委員会	(一社)小山市観光協会
10月	間々田駅東口まつり	民間②	実行委員会	自治会等
10月	西口まつり	民間②	西口まつり実行委員会	西口まつり実行委員会
10月	小山御殿広場ピクニックマルシェ(本番)	民間③	御殿広場ピクニックマルシェ実行委員会	ピクニックマルシェ実行委員会
10月	ツール・ド・おやま	行政	ツール・ド・おやま実行委員会	市生涯スポーツ課
10月	うまいものおやま評定・開運おやまうどんまつり	行政	実行委員会	市商業観光課
10月	おやま開運まつり	行政	実行委員会	市商業観光課
10月	健康都市おやまフェスティバル	行政	健康都市おやまフェスティバル実行委員会	市健康増進課
10月	おやま生まれのオレンジリボンたすきリレー	行政	おやま生まれのオレンジリボンたすきリレー実行委員会	市子育て包括支援課
10月	ハンドベルフェスタ in OYAMA	行政	ハンドベルフェスタ in OYAMA実行委員会	市文化振興課
10月	おやまインターナショナルフェスティバル	行政	小山市国際交流協会	市国際政策課
10~11月	小山市菊花大会	行政	小山兜思会	市商業観光課
11月	おもいがわ映画祭	民間②	NPO法人おもいがわ映画祭実行委員会	NPO法人おもいがわ映画祭実行委員会
11月	小山市農業祭	行政	小山市農業祭実行委員会	市農政課
11月	小山きもの日	行政	小山きもの日実行委員会	市工業振興課
11月	おやまハルーンフェスタ	民間②	おやまハルーンフェスタ実行委員会	おやまハルーンフェスタ実行委員会
11月	おやまエコリサイクルフェア	行政	おやまエコリサイクルフェア2020実行委員会	市環境課
11月	消防フェア	行政	小山市消防署	市消防署消防係
11~12月	開運のまち おやま検定	民間①	(一社)小山市観光協会	(一社)小山市観光協会
12月	小山市消費生活展	行政	小山市消費生活展実行委員会	市市民生活安心課
12~1月	さくら道イルミネーション	行政	小山駅中央自由通路イルミネーション点灯プロジェクト実行委員会	市商業観光課
隔月	軽トラ市	民間①	(一社)小山市観光協会	(一社)小山市観光協会

資料：小山市商業観光課

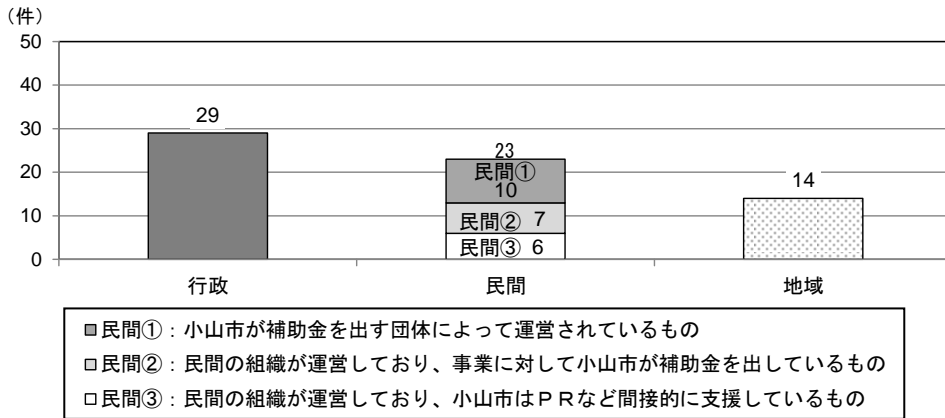


②各イベント事業の運営形態と、来場者数の比較

令和2（2020）年度開催の運営形態別イベントを見ると、行政が29事業と最も多く、次いで民間が23事業と続いている。中でも、民間組織開催の事業の約半数は、本市が運営に関わっている組織によって開催されている。

また、各イベントの来場者数を見ると、来場者数の多いイベントでは、行政、民間に片寄ることなく運営されている。一方で、来場者（参加者）数の少ないイベントは、人数が少なくても歴史的・文化的観点から実施目的を達成できるものが多く、その半数以上は行政が運営しているという傾向がある。

■ グラフー運営形態別イベント数



■ 表一 来場者数の多いイベント（来場者5,000人以上のイベント）

事業名	運営形態	来場者（参加者）数（人）
おやまサマーフェスティバル	行政	480,000
おやまバルーンフェスタ	民間②	68,000
小山祇園祭	民間③	45,000
おやま二千本桜まつり	民間①	37,000
小山市農業祭	行政	29,000
うまいものおやま評定・開運おやまうどんまつり	行政	15,000
小山市菊花大会	行政	8,000
小山の日本一ビールまつり	民間①	7,000
おやまブランドまつり	民間①	6,000
おやま開運まつり	行政	5,000

■ 表一 来場者（参加者）数の少ないイベント

事業名	運営形態	来場者（参加者）数（人）
開運のまち おやま検定	民間①	27
おさかなワイワイ大作戦・ツアー	行政	200
おやま生まれのオレンジ リボントスキリレー	行政	211
思川の流しびな	民間③	300
開運盆おどり	民間①	500
小山市消費生活展	行政	500
おやま国際フェスティバル	行政	600
ほたるの館まつり	行政	600
ツール・ド・おやま	行政	789
寺野東遺跡縄文まつり	行政	800

資料：小山市商業観光課

(5) 観光等資源の状況

①おやまブランド選定状況

令和3(2021)年3月現在、72品目(おやまブランド公認キャラクターを除く)の「おやまブランド」が選定されている。



■表ーおやまブランド一覧

<p>農畜産物（4品目）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ラムサール ふゆみずたんぼ米</li> <li>○生井っ子（減農薬減化学肥料の生井の米）</li> <li>○絹のやまといも</li> <li>○開運おやま 赤たまご</li> </ul>	<p>地酒（17品目）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○おやまの地酒統一ブランド「小山評定」</li> <li>○この酒 小山のラムサールふゆみずたんぼ米（純米大吟醸酒、純米吟醸酒、本醸造酒）</li> <li>○開運のまちおやま「本格芋焼酎 金の鈴 銀の鈴」</li> <li>○ピンクのにごり酒</li> <li>○木桶仕込み かねたまる</li> <li>○思川桜染しぼり 地酒「下野しぼり」</li> <li>○あんずの里でとれた杏酒</li> <li>○開運 ゆず酒</li> <li>○この酒 小山のコシヒカリ</li> <li>○吟醸粕焼酎「門外不出」</li> <li>○本格米焼酎「思川物語」</li> <li>○小山祇園城（純米・純米吟醸）</li> <li>○本格はとむぎ焼酎「小山物語」</li> <li>○おやま古代米本格焼酎「千年の思い」</li> <li>○小山産大麦100%本格麦焼酎「開運小山思川」</li> <li>○本格焼酎「開運小山ひまわり」</li> <li>○本格焼酎「ひまわりの輝き」</li> </ul>
<p>食品（37品目）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○元祖 本物の味 おやま和牛串焼き</li> <li>○おやま和牛 牛めし</li> <li>○おやま和牛 ステーキ串</li> <li>○小山の豚「おとん」弁当</li> <li>○元祖 小山の豚 おとんメンチカツ</li> <li>○おいしい ヘルシー かんぴょう入り 小山評定開運焼き味噌味</li> <li>○おやま和牛入り かんぴょうカレーパン</li> <li>○米ぱん</li> <li>○開運小山うどん</li> <li>○おもいがわ 米うどん</li> <li>○かんぴょううどん</li> <li>○お醤油屋さんのおせんべい</li> <li>○はとむぎ煎餅</li> <li>○伝承の健康茶はと麦茶</li> <li>○小山産はとむぎ100%使用「はとむぎ茶」</li> <li>○はとむぎのゼラート</li> <li>○ハトムギ美肌うどんの粉</li> <li>○ハトムギ美肌ティー</li> <li>○開運 はとむぎ納豆</li> <li>○「小山物語」思川ごぼう</li> <li>○「小山物語」大江戸ごぼう</li> <li>○「小山物語」梅ごぼう</li> <li>○「小山評定」いざ関ヶ原納豆</li> <li>○開運梅干し「開運旨梅開運甘梅」</li> <li>○ラムサールホンモロコ</li> <li>○豆腐「小山評定」</li> <li>○おやまのうまい水「思の泉」</li> <li>○小山産菜種100%使用「なたね油」</li> <li>○はとむぎうどん</li> <li>○おもいがわ焼きそば</li> <li>○かんぴょう物語「るかんだ」</li> <li>○ふくべ福ふく</li> <li>○「小山評定」大開運</li> <li>○米粉の焼きドーナツ</li> <li>○黒糖生どら焼き</li> <li>○開運・おやま「麦こがし」</li> <li>○「思川とうふ」小山物語</li> </ul>	<p>伝統工芸品（7品目）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本場結城紬</li> <li>○間々田ひも</li> <li>○家紋帳筆筥ダルマ戸棚</li> <li>○結城紬「思川桜染」</li> <li>○下野人形 下野しぼり</li> <li>○開運ストラップ</li> <li>○ラムサール渡良瀬遊水地 よしず</li> </ul> <p>芸能（3品目）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○おはやし</li> <li>○小山音頭</li> <li>○ハンドベル</li> </ul> <p>その他（4品目）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○渡良瀬遊水地「ヨシ染め」</li> <li>○郷土料理「うづまあげ」</li> <li>○OYAMAの雫 美容液化粧水</li> <li>○民間ブランド「小山 思川温泉」</li> </ul>

出展：おやまブランドWEB/おやまブランド創生協議会HP（令和3年3月現在）

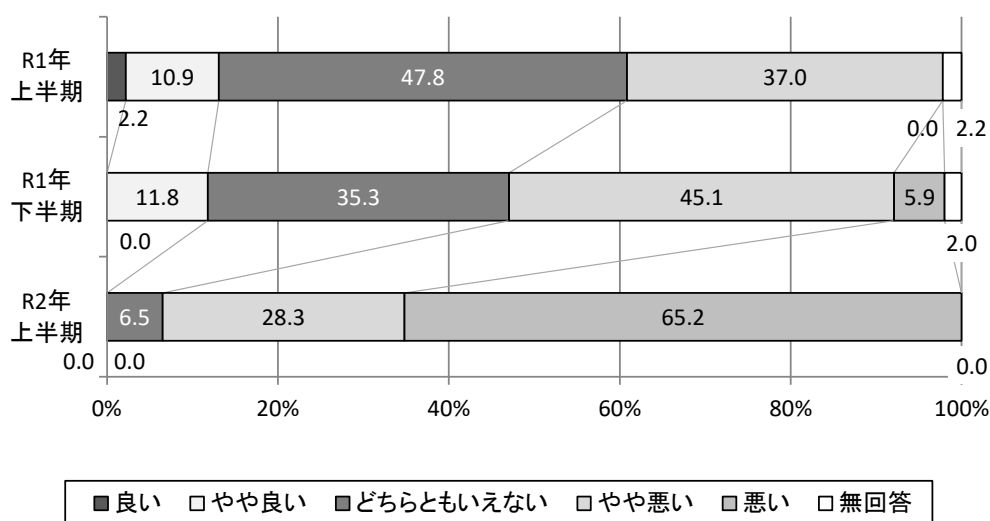
## (6) 小山市の商工業における景気動向

### ①小山市の景気について

商工業従事者による本市の景気分析を見ると、令和元（2019）年度のアンケート調査では「良い」「やや良い」と回答した人が1～2割程度あったが、令和2（2020）年度ではすべての回答者が「どちらともいえない」「やや悪い」「悪い」のいずれかに集中しており、景気の悪化を感じている従事者が多くなっている。

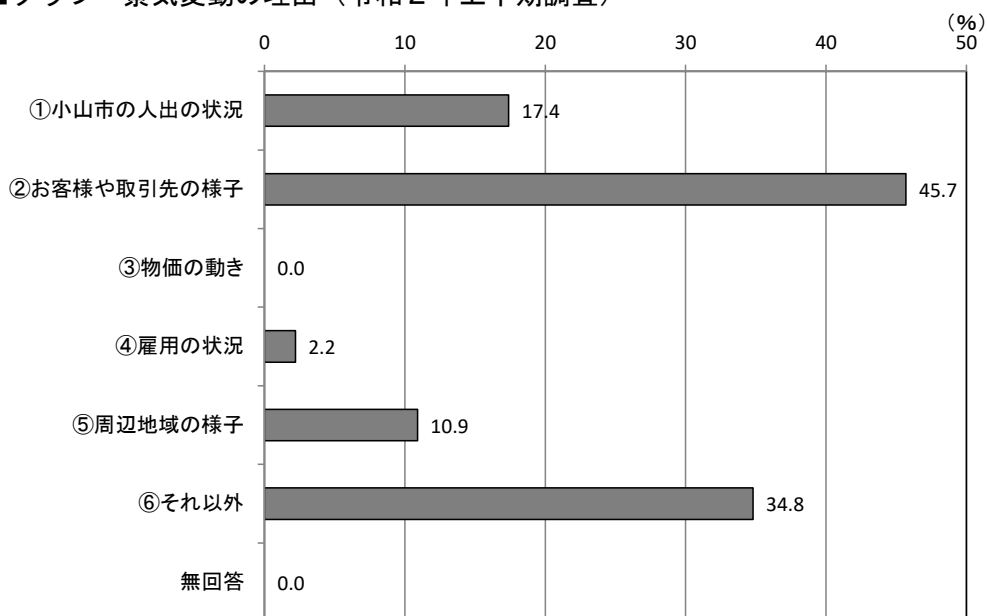
また、景気変動の理由としては、半数近くが「お客様や取引先の様子」を挙げている。次いで多い「小山市の人手の状況」も踏まえると新型コロナウイルス感染拡大の影響が表れていると考えられる。

#### ■ グラフー小山市の景気の現状（令和元年～令和2年上半期）



資料：小山市景気動向調査（白鷗大学） 令和2年度6月版

#### ■ グラフー景気変動の理由（令和2年上半期調査）

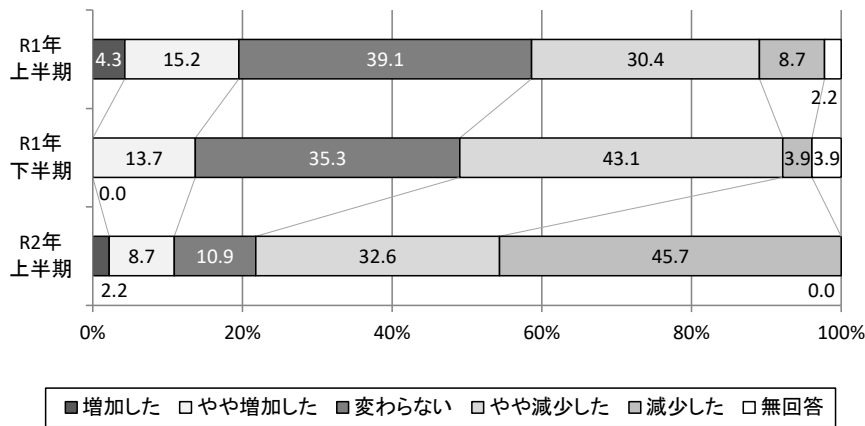


資料：小山市景気動向調査（白鷗大学） 令和2年度6月版

②小山市の企業における資金繰りの推移

本市内の企業における資金繰りの推移を見ると、「やや悪化した」「悪化した」と回答した企業は、令和元（2019）年度では2割未満であったが、令和2（2020）年度には半数以上と大幅に増加しており、その理由としては「売上高の変化」が最も多くなっており、新型コロナウイルス感染拡大による売上の減少が影響している様子が見受けられる。一方で、「改善した」「やや改善した」と回答した企業も前年度よりやや増加しており、こちらの理由としては、「金融機関の貸し出し態度の変化」や「金融政策、金利の変化」など、新型コロナウイルス感染症対策として行われた政府の金融施策などが挙げられている。

■ グラフー小山市の企業における資金繰りの推移（令和元年～令和2年上半期）



資料：小山市景気動向調査（白鷗大学） 令和2年度6月版

■ 表一 資金繰りの変化の理由（令和2年上半期調査）

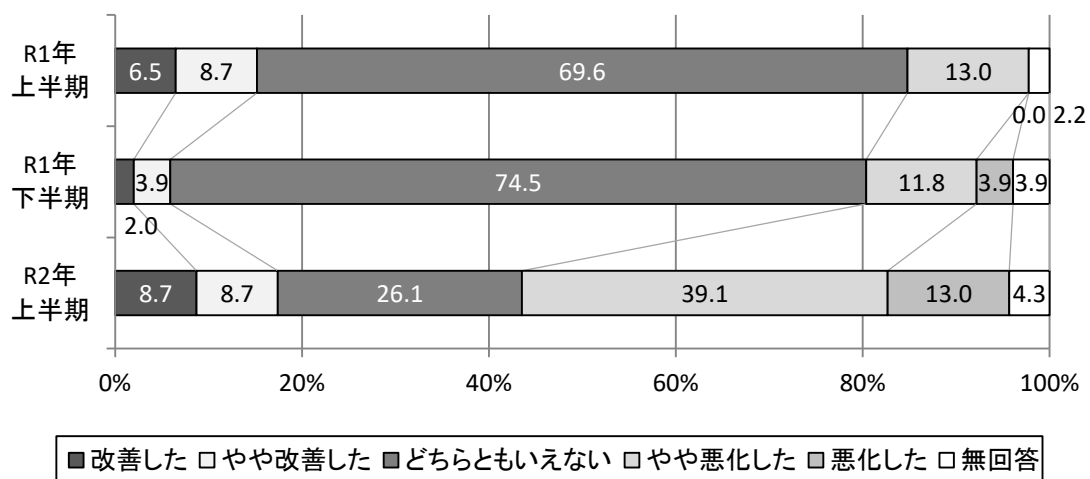
理由	①売上高の変化	②設備資金需要の変化	③仕入れ価格、原材料・燃料価格の変化	④人件費の変化	⑤金融機関の貸し出し態度の変化	⑥金融政策、金利の変化	⑦その他	無回答
改善した	0	0	2.2	0	2.2	2.2	4.3	0
やや改善した	2.2	0	0	0	2.2	0	2.2	2.2
どちらともいえない	10.9	2.2	4.3	2.2	0	6.5	4.3	4.3
やや悪化した	28.3	0	4.3	2.2	0	0	6.5	0
悪化した	8.7	0	0	2.2	0	0	2.2	0
無回答	2.2	0	0	0	0	0	0	2.2
合計	52.2	2.2	10.9	6.5	4.3	8.7	19.6	8.7

資料：小山市景気動向調査（白鷗大学） 令和2年度6月版

### ③小山市の企業の雇用状況について

本市内の企業における雇用状況の推移を見ると、令和元（2019）年度上半期では「やや過剰となる」「過剰となる」が3割近くを占めていたが、下半期以降では、「不足する」「やや不足する」が3割近くを占めるようになった。

■ グラフー小山市の企業における雇用の見通しについて（令和元年～令和2年上半期）



資料：小山市景気動向調査（白鷗大学） 令和2年度6月版

(7) 中心市街地における開発動向

小山駅を中心とする中心市街地における開発動向は以下に示すとおりである。

ロブレビルが整備された小山駅西地区第一種市街地再開発事業をはじめ、4地区（計2.4ha）において事業が完了している。

直近では、駅東通り一丁目第一地区において、高層マンションが整備されたほか、同時に子育て支援施設、診療所が併設されている。

■表一市街地再開発事業等（完了）

番号	名称	施行者	施行区域面積	施行年度
1	小山駅西地区 第一種市街地再開発事業	組合	0.9ha	H1～H6
2	小山中央第一地区 第一種市街地再開発事業	組合	0.7ha	H1～H6
3	城山町三丁目第一地区 第一種市街地再開発事業	組合	0.5ha	H22～H25
4	駅東通り一丁目第一地区 市街地整備事業	民間	0.3ha	H29～R2

資料：市新都市整備推進課



▲小山駅西地区第一種市街地再開発事業（左：外観 右：上空写真）



▲城山町三丁目第一地区  
「城山・サクラ・コモン」



▲駅東通り一丁目第一地区  
「小山イーストクロス」

また、以下の2地区において、現在、市街地再開発事業が推進されており、小山駅周辺地区において、定住人口及び交流人口の増加が期待されている。

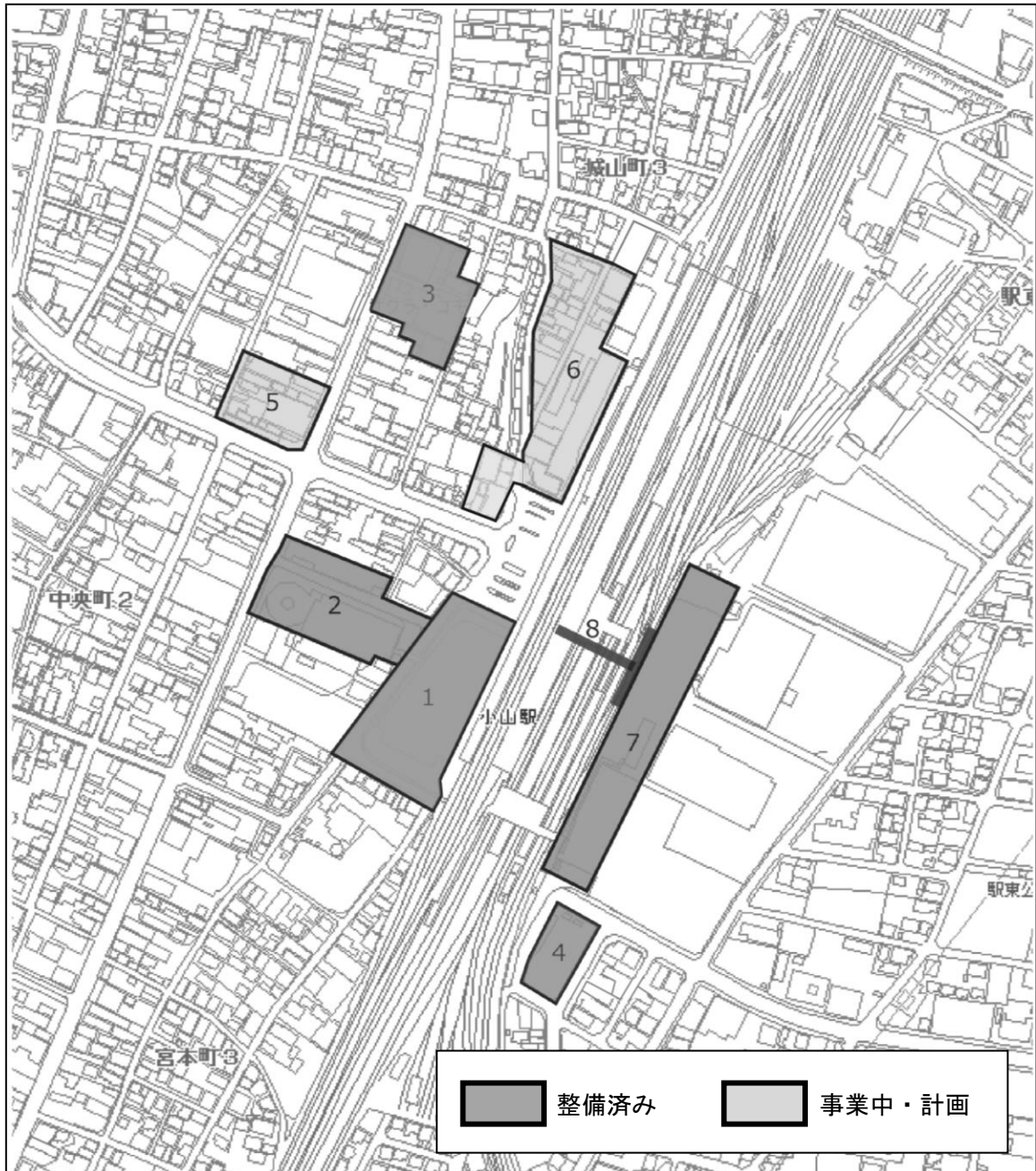
■表一市街地開発事業（事業中・計画）

番号	名称	事業概要	対象面積	施行年度
5	城山町二丁目第一地区第一種市街地再開発事業	・祇園城通りと小山宿通りの交差点の北西に位置する、駐車場や商業ビルが立地する地区 ・準備組合設立（H25.10）	約0.4ha	H28～
6	城山町三丁目第二地区第一種市街地再開発事業	・小山駅西口駅前広場の北側と西側に隣接する、銀行や市営駐車場、ホテルや商業ビル等が立地する区域 ・準備組織設立（R1.6）	約1.2ha	未定

資料：小山市新都市整備推進課



■ 図一 小山駅周辺における開発動向



1	小山駅西地区第一種市街地再開発事業（済）
2	小山中央第一地区第一種市街地再開発事業（済）
3	城山町三丁目第一地区第一種市街地再開発事業（済）
4	駅東通り一丁目第一地区市街地整備事業（済）
5	城山町二丁目第一地区第一種市街地再開発事業（中）
6	城山町三丁目第二地区第一種市街地再開発事業（計）
7	小山駅東口第2期再整備事業（済）
8	小山駅中央自由通路整備事業「さくら道」（済）

## 第3章

# 市民及び商業観光関連事業者の意向

### 3-1. アンケート調査からみる市民及び商業観光関連事業者の意向について

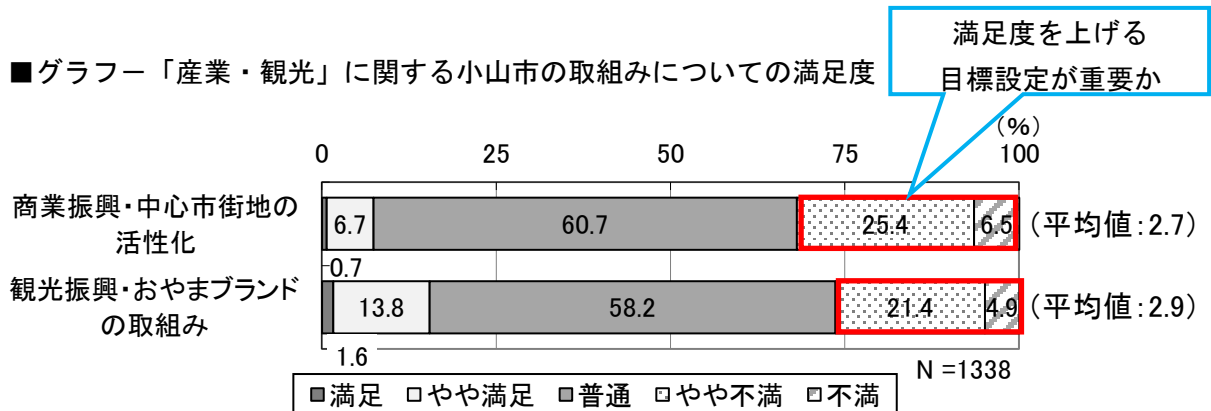
(1) 第8次小山市総合計画より [対象者：市民] (令和元(2019)年調査)

- ①商業振興・中心市街地の活性化の取組みに対する満足度
- ②観光振興・おやまブランドの取組みに対する満足度

商業振興・中心市街地活性化に関する取組みについては、「やや不満」「不満」と回答した人が約3割を占めており、不満を感じている人が多くなっている。

また、観光振興やおやまブランドの取組みについては、「やや不満」「不満」と回答した人が約4分の1を占めており、こちらも不満を感じている人が多くなっている。

#### ■グラフ「産業・観光」に関する小山市の取組みについての満足度

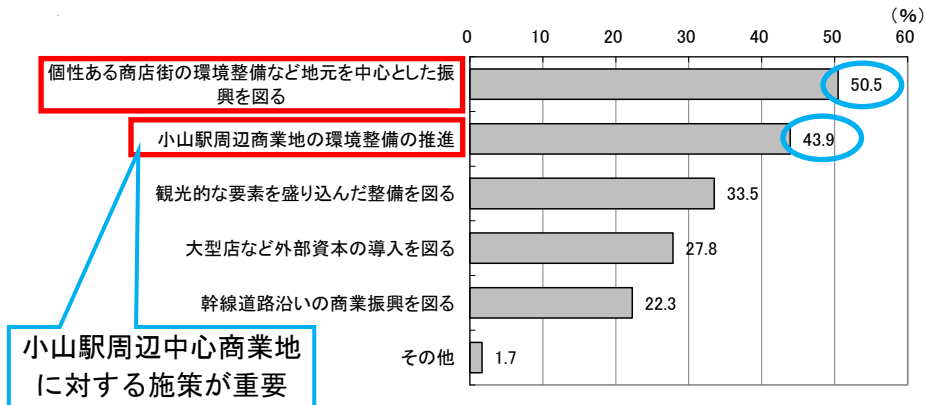


※平均値は「満足」：5～「不満」：1と、各項目を数値化した平均値

#### ③商業振興で優先すべきこと

商業振興の取組みで優先すべき事項としては、約半数が「個性ある商店街の環境整備など地元を中心とした振興を図る」と回答しているほか、「小山駅周辺商業地の環境整備の推進」を求める回答も4割以上を占めている。

#### ■グラフ商業振興について優先すべき事項

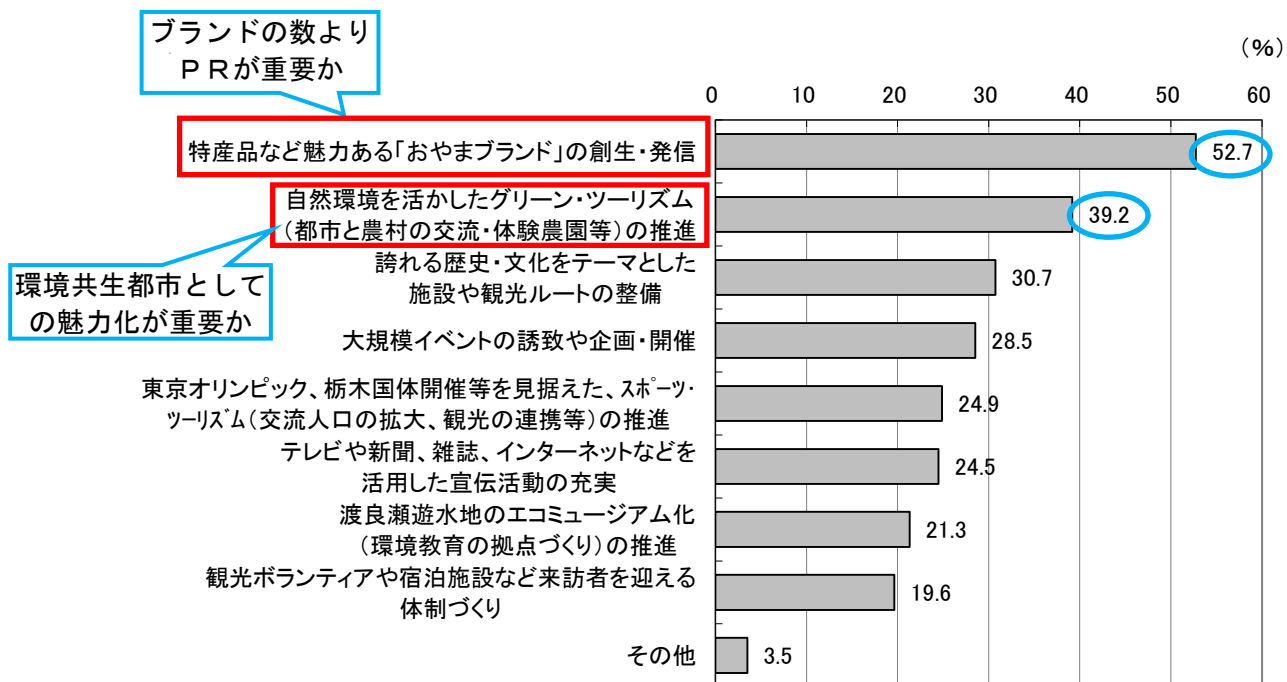


#### ④観光振興で優先すべきこと

観光振興の取組みで優先すべき事項としては、「特産品など魅力ある「おやまブランド」の創生・発信」を求める回答が半数以上を占め、特に多くなっている。

「自然環境を活かしたグリーンツーリズム」も4割近くを占めている。

#### ■グラフー観光振興について優先すべき事項



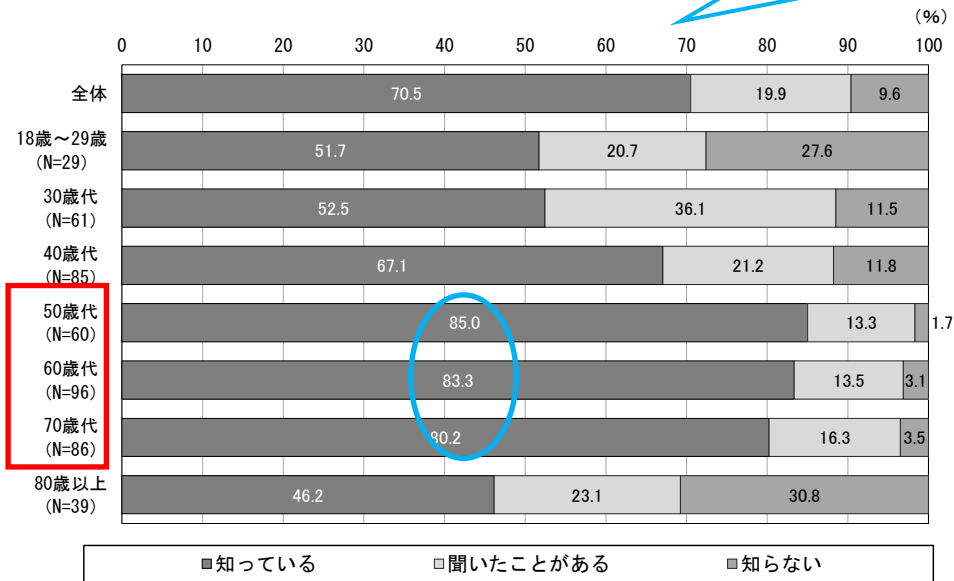
(2) 第3期「おやまブランド」創生・発信推進計画より [対象者：市民、ふるさと納税者]  
(平成30(2018)年調査)

①おやまブランドの認知度

おやまブランドの認知度については、80歳未満のすべての年代で「知っている」という人が過半数を超えており、特に50～70歳代の中老年層で多くなっている。

■グラフー年齢別のおやまブランドに関する認知度

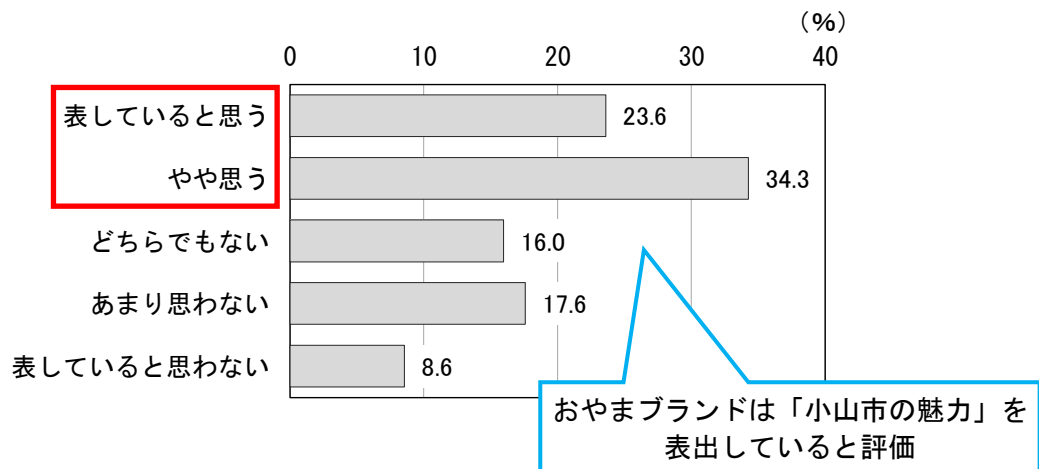
若い世代へのアピール、ブランド品創出等への参画が必要か



②おやまブランドによる市の魅力表現

おやまブランドが市の魅力を表しているかについて、「表していると思う」「やや思う」と回答した人が過半数を超えている。

■グラフー「おやまブランド」が市の魅力を表しているかについて



おやまブランドは「小山市の魅力」を表出していると評価

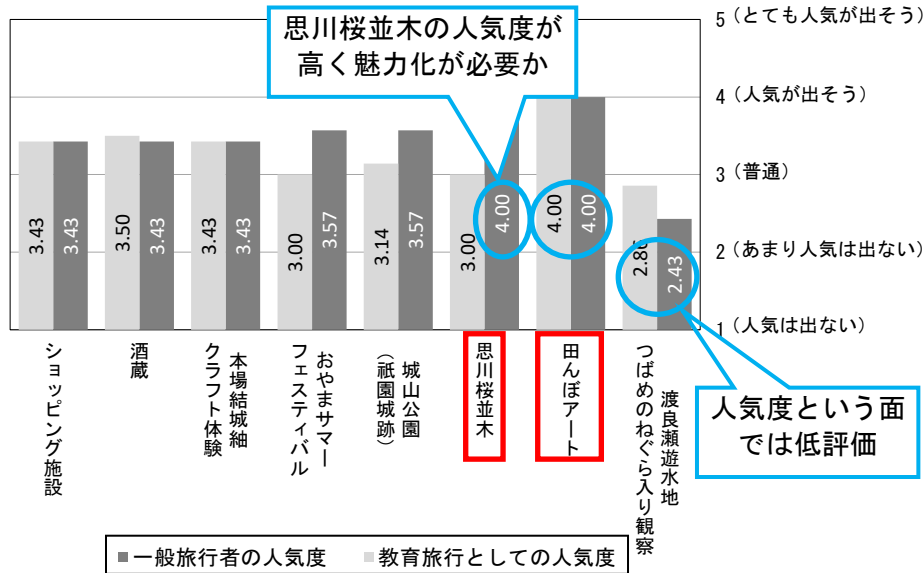
(3) 小山市インバウンド3ヵ年計画より [対象者：旅行事業者海外支店、ALT (外国語指導助手)] (平成28 (2016) 年調査)

①テーマごとの観光スポット・イベント人気度評価

インバウンド事業における本市の観光資源の人気度については、一般旅行者には思川桜並木と田んぼアートがともに4.00ポイントと比較的高く評価されており、教育旅行としては田んぼアートが4.00ポイントを得ており、田んぼアートの人気度が高い。

また、その他多くの資源で「普通」以上に相当する評価を得ており、訪日外国人観光客から一定の人気を得ることが出来るとされている。一方で、渡良瀬遊水地でのつばめのねぐら入り観察は、訪日外国人の需要に合わないなどの理由から、人気は出ないとの意見が多くなっている。

■ グラフー小山市のアクティビティ・観光スポットに関するインバウンド事業における人気度



※人気度は、海外7カ国（オーストラリア・米国・シンガポール・中国・台湾・香港・タイ）の旅行代理店の回答（5段階評価）を以下のように点数化し、観光資源ごとに算出した平均値

- 「とても人気が出そう」 : 5点
- 「人気が出そう」 : 4点
- 「普通」 : 3点
- 「あまり人気は出ない」 : 2点
- 「人気は出ない」 : 1点

※「ショッピング施設」は、道の駅思川、しもつけ銘品館、サクラミチ、まちの駅思季彩館の4施設についての総合的な評価

## ②家族や友人に勧めたい小山市内観光スポット・イベント

児童生徒の英語力向上のため、市内小・中・義務教育学校において活動するALTが、家族や友人に勧めたい観光資源では、おやまサマーフェスティバルでの花火や、思川桜などを挙げる人が特に多くなっている。

### ■グラフー家族や友人に勧めたい小山市内観光スポット・イベント（複数回答・上位10箇所抜粋）

No.	観光スポット・イベント	選択者数（人）
1	小山サマーフェスティバル（花火）	19
2	思川桜（思川）	16
3	おやまバルーンフェスティバル	10
4	小山サマーフェスティバル（前夜祭）	7
5	間々田のジャガマイタ	6
6	篠塚稻荷神社の飾り馬	6
7	高椅神社太々神楽	6
8	小山祇園祭	5
9	開運盆踊り	4
10	おやま菜の花まつり	4

一般市民にも  
人気度が高い

N=23（小山市内のALT）

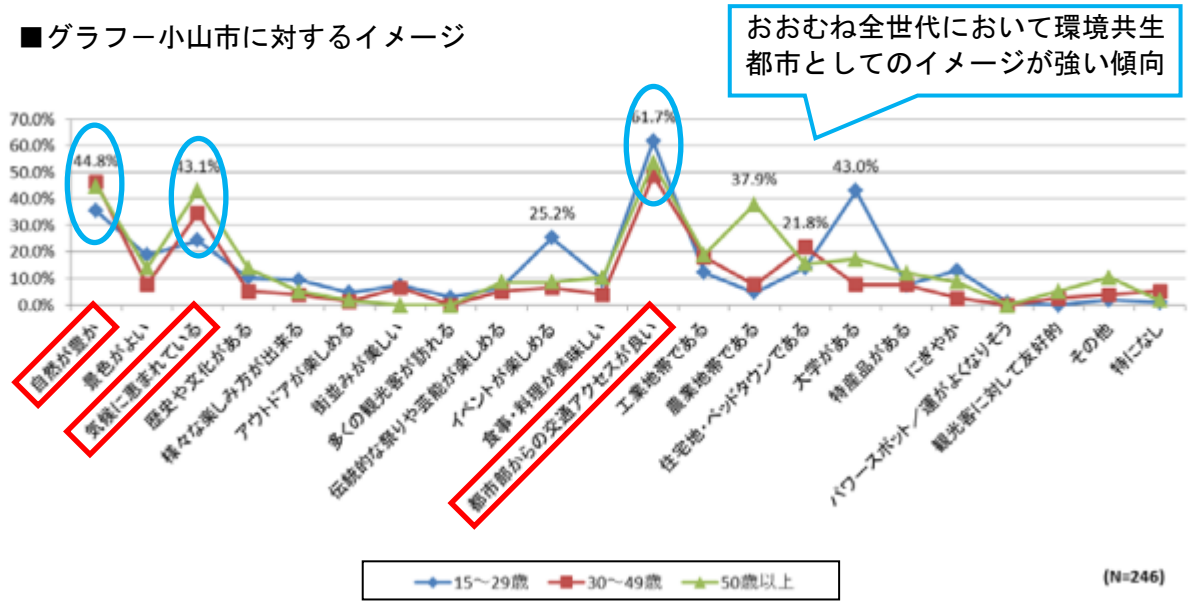
(4) 第1期小山市シティプロモーション5カ年計画より〔対象者：市内在住もしくは通勤・通学者〕（平成27（2015）年調査）

①小山市に対するイメージ

本市に対するイメージを3つの年代区分に分けて分析したところ、どの年代も「都市部からの交通のアクセスが良い」が最も高い割合となっている。

年代別で見ると、15～29歳で「イベントが楽しめる（25.2%）」「大学がある（43.0%）」が高く、50歳以上では「農業地帯である（37.9%）」が高くなっている。

■ グラフー小山市に対するイメージ

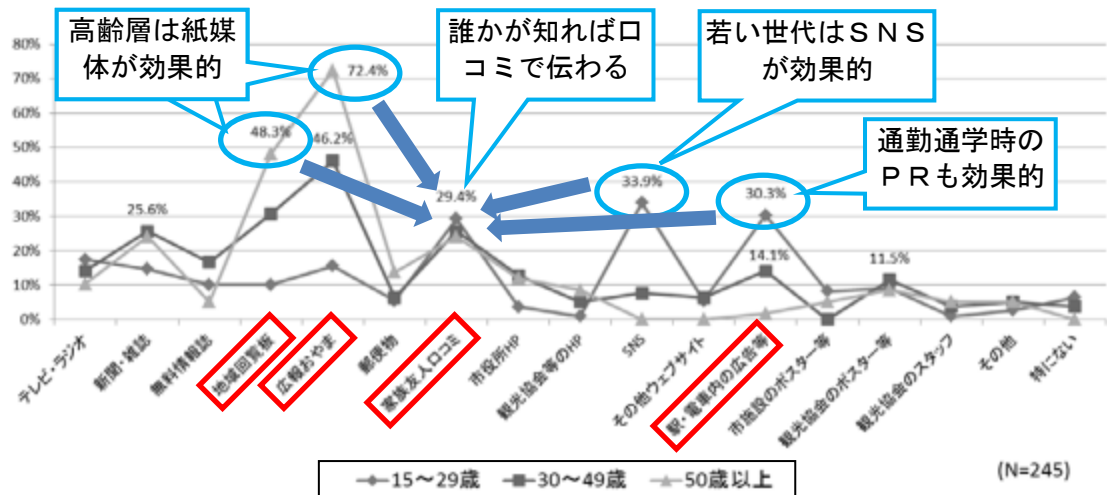


②小山市内のイベントの情報入手方法

本市内のイベントの情報入手方法としては、15～29歳では「SNS」が33.9%と最も多く、「駅・電車内の広告等」が30.3%で続いている。

一方50歳以上では「広報おやま」が72.4%と非常に多く、年代により情報入手方法に違いが見られる。また、「家族友人の口コミ」はすべての年代で上位3位までに入っており、年代問わず利用度の高い情報入手手段となっている。

■ グラフー小山市内のイベントの情報入手方法



## 第4章

## 計画課題の整理

### 4-1. 商業・観光の現況等からの課題

#### (1) 商業の現状からの課題

##### 課題1 商業振興の原動力となるまちなかの活力低迷

本市全体としては、近隣都市に比べ人口減少の傾向は現時点ではゆるやかであるものの、今後は少子高齢化の進展による全市的な人口減少が予測される中、特に小山駅周辺のまちなかにおける人口減少が懸念される。

駅周辺におけるマンション立地等のポテンシャルを活かしながら、主要な消費者である市民をはじめ、移住者等のまちなかへの居住を促進するとともに、その機運を高める便利で快適な生活環境の整備が求められる。

##### 課題2 商業機能の魅力低下

中心市街地を中心に、商店経営者の高齢化や、後継者不足などが問題となっており、その影響で、市内では空き店舗が見られる状況にある。特に小山駅周辺においては、本市の核的商業施設であるロブレビルにて積極的な店舗誘致による再生を図っているものの、核となる商業施設として十分機能しているとは言い難い。

今後本市全体の商業機能を強化していく上では、さらなる活用推進策を講じていくことが求められるばかりでなく、小山駅周辺をはじめとした地域商業空間において、街並み環境整備や歩行者空間など、賑わい創出を促す環境整備や景観づくりが求められる。

##### 課題3 ニーズに対する不十分な対応

本市は、東京から通勤圏にあり、工業団地を始め、多くの優良な事業所を有し、また白鷗大学が立地するなど、高齢化が進行する中であっても、比較的若い世代の市民が多く生活している特徴を有している。

小山駅周辺のまちなかにおいては、若者等のニーズに応じた新たな飲食店舗等の出店が見られるものの、地元商店等の品揃えやサービス面からは、若い世代等への対応が十分とは言えない状況である。

一方、車で遠くまで買い物に行けない高齢者への配慮など、若い世代とは違った視点において、より買い物しやすい環境の確保などが求められる。

##### 課題4 持続的な商業活動の維持

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、小売業、卸売業、飲食業など多くの事業が多大な影響を受けており、現時点では当面新型コロナウイルス感染症の影響が継続することを見据え、本市の商業力低下をできる限り抑制し、今後も持続的に商業活動が行えるよう、効果的な支援策を講じていくことが求められる。



## (2) 観光・イベント事業に関する現状からの課題

### 課題1 豊かな地域資源のさらなる活用

本市はシティプロモーション等を通じ、各種観光資源の魅力を積極的にPRしているところであり、また、「おやまサマーフェスティバル」など、高い集客を誇るイベントも開催されるなど、観光客入込数もおおむね増加傾向にある。

しかしながら、県内の主要観光都市に比べると、地域資源は少なく、商業の活性化のためには魅力向上を図る必要がある。

今後は既存の観光資源にさらに磨きをかけ、新たな観光資源を有効に振興策に取り込んでいくことが重要である。

また、各種イベントについても、より効果的かつ経済的な集客が図れるよう、行政主体の運営形態から民間主体への移行を検討していくことが求められる。

### 課題2 十分に整っていないまちなか観光基盤

小山駅を中心とするまちなかは、近接して思川が流れ、歴史資源等も多く立地しており、ゆったりと歩いて、あるいは自転車を利用して気軽に散策できるほどよいエリアとして捉えることができる。

しかしながら、安全・快適に回遊できる歩行者環境の整備や、観光資源間のネットワークが十分とは言えず、来訪者をもてなす観光基盤の強化が求められる。

### 課題3 観光拠点及び回遊性の確保と広域的な観光ネットワークの構築

本市は多くの観光資源を有するものの、訪れてみたいと思う目玉観光スポットが少ないのが現状であり、豊かな観光資源を活かしながら、本市の知名度向上に資するような観光拠点を確保することが求められる。

また、市内各地域には伝統的な催事や自然・田園環境など、有効な観光資源が立地しているものの、点的な立地となっている場合が多く、それらの観光資源をうまくネットワークしていくことも必要である。

さらに、近隣には高い集客を誇る観光資源を有する都市が立地しており、交通の要衝という本市の立地優位性を活かしながら、それらとの連携による広域的な周遊型観光ネットワークの構築についても検討していくことが求められる。

### 課題4 インバウンドをはじめとする観光活動の低迷

新型コロナウイルス感染症拡大及び東京2020オリンピック・パラリンピック開催延期の影響を大きく受け、本市においてもインバウンドをはじめとする観光活動が低迷し、宿泊業への影響をはじめ、本市の観光資源の有効活用が効果的に進まなくなった。

商業の課題と同様に、現時点では当面新型コロナウイルス感染症の影響が継続することを見据え、インバウンド頼りとならない観光振興策の検討をはじめ、今後も本市の魅力向上を図り、持続的に観光活動が行えるよう、効果的な対応策を講じていくことが求められる。

## 第5章

## 商業・観光振興計画の検討

### 5-1. 商業・観光振興の基本方針と基本目標

#### (1) 商業・観光振興の基本方針

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を注視しながら、本市の商業・観光活動を持続的、発展的に展開していくため、商業拠点としての小山駅周辺のまちなか活性化を最優先としつつも、あわせて地域商業地の活性化を積極的に推進する。

また、本市の有する自然・歴史・文化等の観光資源のさらなる磨き上げ、掘り起こしと新たな拠点創出を図りながら、同時にまちなかの回遊性及び観光資源間のネットワーク化を図る。

あわせて、商業・観光振興に係るPR・情報発信を通じ、国内外を問わず多様な人々に選ばれる商業・観光環境の魅力向上を図る。

特に、ウィズコロナあるいはアフターコロナを念頭に、持続的に商業・観光活動を維持していけるよう、ICTやAI、IoTなど新たな技術の導入等による新たな消費者ニーズに対応した対策及び有効な情報発信、サービスの提供など、有効かつ柔軟な対策を講じていくものとする。

また、各種施策・事業の推進にあたっては、市、事業者、市民が協働し、効率的、効果的に各種施策・事業の展開を図り、小山の商業・観光振興を総合的に推進する。

以上の考え方をもとに、本市の商業・観光振興の基本方針を以下にまとめる。

#### <商業・観光振興の基本方針>

**賑わい・魅力ある商業・観光振興で  
人々に選ばれ、楽しみ喜ばれる、おやまの創造**

## (2) 商業・観光振興の基本目標

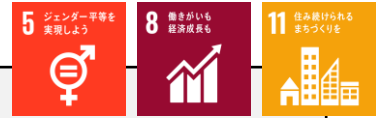
商業・観光振興の基本方針の実現を目指し、基本目標を次のように設定する。

### 【基本目標】

#### 1 商業活性化による賑わいあるまちづくり

- 小山駅、間々田駅及び思川駅周辺の商業環境の再生・活性化による賑わい創出を図る。
- 地元消費の喚起を促進し、商業活動の持続化を図る。
- まちなかにおける回遊性強化により商業活性化を図る。

### 【関連するSDGsの目標アイコン】



#### 2 観光資源の発掘・活用・磨き上げ

- 交通アクセスの良さや豊かな自然資源、地域の歴史・文化的資源の活用、美しい都市景観の創出などを通じた、個性と魅力ある観光振興を図る。
- まちなかにおける回遊観光の拠点形成と活用を図る。
- 渡良瀬遊水地の貴重な自然資源を活かしたエコツーリズムの推進により観光振興を図る。



#### 3 多様なPR・情報等による小山の商業・観光の魅力発信

- 「おやまブランド」をはじめ小山の個性が光る商業・観光資源の積極的なPRによる、知名度の向上、魅力発信を図る。
- まちなかの回遊性とともに、歴史・自然等の観光資源間、さらにはまちなかと郊外部とのネットワークによる商業・観光の活性化を図る。



#### 4 協働・連携で取り組む商業・観光施策の展開

- 商業・観光関連団体や活動に対する適切な支援をはじめ、後継者の育成、新規起業者等の人材育成及び観光客をもてなす人材育成等を図る。
- 周辺都市等との連携により、各都市の魅力を活かした相乗的な商業・観光施策の展開を図る。



## 5-2. 計画体系

重点事業

基本方針	基本目標	基本施策	具体的な取組み【位置づけ】
賑わい・魅力ある商業・観光振興で 人々に選ばれ、楽しみ喜ばれる おやまの創造	1 商業活性化による賑わいあるまちづくり	1-1 中心商業活性化促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地商業出店等促進事業【既定】</li> <li>まちづくり活動推進事業【既定】</li> <li>小規模事業者支援推進事業【新規】</li> </ul>
		1-2 地域商業活性化促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域商店街活性化事業【既定】</li> <li>地域生活拠点環境整備事業【既定】</li> </ul>
		1-3 地元消費の喚起促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>開運小山市共通商品券発行事業【既定】</li> </ul>
		1-4 まちなかの賑わい	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちの駅運営事業【既定】</li> <li>まちなかの魅力磨き上げ推進事業【新規】</li> </ul>
	2 観光資源の発掘・活用・磨き上げ	2-1 地域資源を活用した観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の伝統行事支援事業【既定】</li> <li>思川観光資源化事業【既定】</li> <li>中心市街地活性化イベント事業【既定】</li> <li>まちなかの魅力磨き上げ推進事業【新規】</li> </ul>
		2-2 祇園城跡(城山公園)・小山御殿広場等の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>城山(祇園城)公園再整備事業【新規】</li> <li>文化財の保存・活用事業【既定】</li> </ul>
		2-3 本場結城紬による観光まちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>本場結城紬プロモーション事業【既定】</li> </ul>
		2-4 渡良瀬遊水地周辺地域のエコツーリズム推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>渡良瀬遊水地のエコツーリズム推進事業【新規】</li> </ul>
		2-5 自然と歴史のネットワーク整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車ネットワーク形成事業【既定】</li> <li>コミュニティバス運営事業【既定】</li> </ul>
		2-6 観光誘客の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育旅行等推進事業【新規】</li> </ul>
	3 多様なPR・情報等による小山の商業・観光の魅力発信	3-1 新たな特産品の創出・発信支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>独自の食創出・発信支援事業【既定】</li> </ul>
		3-2 おやまブランドの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>おやまブランド創生・発信事業【既定】</li> <li>「小山評定ふるさと大使」事業【既定】</li> </ul>
		3-3 小山の魅力発信の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>シティプロモーション事業【既定】</li> <li>SNS活用情報発信事業【既定】</li> <li>バーチャル観光情報発信事業【新規】</li> </ul>
	4 協働・連携で取り組む商業・観光施策	4-1 体制強化・人づくり支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者商業観光活動支援事業【既定】</li> <li>中小企業事業資金融資事業【規定】</li> <li>観光ボランティアガイド育成事業【既定】</li> </ul>
		4-2 広域連携の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>下都賀地区広域観光ネットワーク事業【既定】</li> <li>広域観光メニュー開発事業【既定】</li> </ul>

【既定】: 第2期小山市商業・観光振興計画において位置づけられていた具体的取組事業(取組事業名を変更したものを含まず。)

【新規】: 第2期計画策定以降に既に実施された事業及び、今回第3期計画において新たに位置づける具体的取組事業

### 5-3. 体系別基本施策及び具体的取組み

#### 【基本目標】

#### 1. 商業活性化による賑わいあるまちづくり

#### 【基本施策】

#### 1-1 中心商業活性化促進

本市の商業活動を牽引する役割を担う小山駅周辺地区について、大局的な都市づくりの視点を踏まえつつ、本市の賑わいの再生及び魅力を創出するため、中心商業活性化を図る。

#### 【具体的取組み方針】

#### ① ロブレビルの活用・空き店舗の活用

特に小山駅前商店街の中に見られる空き店舗については、商業空間としての連続性を確保しながら、多様なニーズに対応した店舗出店等の促進を図り、ロブレビルのさらなる活用と併せ、駅前商業空間一帯の賑わいや魅力の創出につなげる。


#### ② 中心市街地商店街の活性化

小山駅周辺に集積する商店街の活力再生、魅力化を図るため、商工会議所等と連携しながら、引き続き商業環境の充実を図る。特に、まちなかにおける活力・魅力の向上を促進するため、若者・女性の起業やイベント活動に対し、必要な支援を行う。

#### ③ 事業承継の推進

商店街を中心とした小山駅周辺地区における賑わい再生を図るため、個人経営の店舗などにおける後継者対策を図り、本市における商業の衰退を防ぐ。

#### ◆具体的取組み

取組み事業	取組み概要	取組み主体
中心市街地商業出店等促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き店舗活用の促進</li> <li>・ロブレビルの再生に資する新規出店の促進</li> </ul>	小山市事業者
 まちづくり活動推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者・女性の起業支援</li> <li>・まちなか活性化に資するイベント活動支援</li> </ul>	小山市市民
小規模事業者支援推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工団体の実施する事業者等の事業継承を支援</li> </ul>	小山市市民

※  : 重点事業

## 1-2 地域商業活性化促進

本市の地域生活拠点としての役割を担う間々田駅、思川駅周辺地区について、商業環境と生活環境を一体的に向上することにより、地域商業地の再生・活性化と同時に生活利便性の向上を図る。

### ① 地域商店街の活性化

歴史・文化・伝統、特産品等地域の個性を活かしながら、地域性豊かな商業環境の充実に努めるとともに、地域観光振興への波及効果も含め、地域全体の活性化を促進する。

#### ◆具体的取組み

取組み事業	取組み概要	取組み主体
地域商店街活性化事業	・ 商工団体の活動支援 ・ 商店会の共同事業支援 ・ 地元若者発案型地域商店街活性化の提案促進	小山市 事業者 市民
地域生活拠点環境整備事業	・ 街並み環境整備の推進 ・ 商店街等歩行者空間整備の推進	小山市 市民


## 1-3 地元消費の喚起促進

市民や在勤者等の地元消費の喚起を強化するため、「開運小山市共通商品券」の継続発行とサービス強化を図る。

### ① プレミアム付き商品券のサービス強化と継続

市民や在勤者向けに既に発行されている「開運小山市共通商品券」の利用促進や、経済状況によりプレミアム率をアップするなど、地元消費喚起とともに生活支援を効果的に継続する。

#### ◆具体的取組み

取組み事業	取組み概要	取組み主体
 開運小山市共通商品券発行事業	・ 商品券の発行による地元消費喚起	小山市 事業者

1-4 まちなかの賑わい

本市の商業観光の魅力向上のため、地域のアンテナショップである「小山市まちなかの駅思季彩館」などのさらなる機能強化により、まちなか観光のおもてなし・回遊拠点を核とした、賑わいの創出を図る。

① まちなかの駅機能強化・充実

おやまブランドをはじめとした地域の特産品や、地元産の新鮮野菜や果物、生花の販売など、地域のアンテナショップとして、また、まちなか観光のおもてなし拠点、まちなか回遊拠点としての役割を担うまちなかの駅思季彩館の機能強化を図る。

② 駅西口広場及び駅周辺地域の再整備

まちなか観光をはじめ本市の玄関口としての小山駅西口駅前広場について、駅前商業空間の魅力化をはじめ、観光客等へのおもてなしを充実し、多様な人々が快適に利用できる駅周辺の環境確保を図る。

◆具体的取組み



取組み事業	取組み概要	取組み主体
まちなかの駅運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなか観光拠点としての更なる活用</li> <li>・イベント機能や飲食機能等の強化による交流の場としての拡充</li> </ul>	小山市 事業者 市民
まちなかの魅力磨き上げ推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗によるオープンテラス設置と、官民による街路空間の利活用</li> <li>・民間事業者協力のもと、社会実験を実施し、駐車場等低未利用地の利活用</li> </ul>	小山市 事業者 市民



【小山市まちなかの駅思季彩館】

## 2. 観光資源の発掘・活用・磨き上げ

### 2-1 地域資源を活用した観光の振興

交通アクセスの良さと豊かな自然や文化・歴史等を生かし、観光資源の掘り起こしを図るとともに、市民の意見を取り入れた集客力の高いイベント開催や観光スポットの創出により、観光の振興を図る。

#### ① 個性豊かな地域の祭りの継承と活用

国の重要無形民俗文化財に指定されている間々田のじゃがまいた、南飯田の神田囃子、篠塚初午祭、白鳥八幡宮古式祭礼などをはじめ、各地域には個性豊かな地域のお祭りが継承され、季節の風物詩ともなっている。

それらの伝統・文化を後世に継承するとともに、個性ある観光資源としても有効に活用できるよう、地域や保存会等と連携しながら支援を図る。

#### ② 自然や既存施設の活用

本市の重要な水の軸であり、アユ釣り、舟運、舟遊びの場として親しまれている思川や、農村部にて歴史的な価値を有し、当該集落の観光振興に資する古民家など、地域資源、観光資源として、本市の観光振興に資する自然や既存施設について、積極的な活用を図る。

また、道の駅思川や観光農園施設のいちごの里などといった、農産物などの地元産品を扱う、一定の集客力を持つ施設との連携を促進し、地域資源の活用を促す。

#### ③ 商業・観光振興イベントの充実

各種イベントの充実を図り、他の観光施設への誘導や商業振興への波及効果を向上し、イベントを通じた市全体の活性化を促進する。

一方、歴史・文化資源や豊かな自然環境等を活かした新たな観光拠点の整備とあわせ、小山の魅力をアピールできる新たなイベント開催等についても、関係団体や周辺市町との連携を図りながら検討する。

今後は、運営形態の検討をはじめ、ニューノーマル（新たな常態や常識）時代に即した実施の在り方検討や、実施効果、ニーズ等を踏まえた見直しあるいは一体化等を検討し、より安全で効果的、経済的なイベントの実施を図る。



◆具体的取組み

取組み事業	取組み概要	取組み主体
地域の伝統行事支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝統行事実施に係る運営支援</li> <li>・ 伝統行事の魅力発信による地域観光の振興</li> </ul>	小山市 市民
思川観光資源化事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 思川河川堤の活用による沿川ネットワーク化</li> <li>・ 思川の資源の活用（アユ・サケ等）</li> </ul>	小山市 市民
中心市街地活性化イベント事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存イベントの強化と新たな商業観光振興イベントの企画・開催支援</li> <li>・ イベント関連ニーズ調査の実施と評価・分析反映による満足度向上</li> </ul>	小山市 市民
まちなかの魅力磨き上げ推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ラフティングやスタンドアップパドルボード（SUP）などの水辺を活用したアクティビティの創出</li> </ul>	小山市 事業者 市民



【間々田のじゃがまいた】



【御殿広場ピクニックマルシェ】

## 2-2 祇園城跡（城山公園）・小山御殿広場の活用

市の中心部に立地する、祇園城跡（城山公園）及び小山御殿広場について、本市の歴史的背景を色濃く残す空間として、市民から親しまれる公園整備推進とイベント等を通じた活用により、観光拠点として磨きをかけ、まちなか回遊性の確保を図る。

### ① 祇園城跡（城山公園）の活用

祇園城跡（城山公園）については、現在歴史資源としての保全、本市のシンボルとして、より親しみやすい憩い・集いの拠点への再整備が進められており、思川との一体的活用を含め、まちなかに立地する観光拠点の一つとして、市民・事業者との協働により、有効に活用を図っていく。


### ② 小山御殿広場の活用

小山御殿広場については、本市の歴史的象徴空間として重要であるばかりでなく、中心市街地において多くの人々を惹きつける自然空間として活発に利用されており、今後もまちなか観光の拠点の一つとして、積極的な活用を図る。

### ③ 各種歴史資源の保存と活用

本市の発展の基礎を築いた旧日光街道や摩利支天塚古墳、琵琶塚古墳等の史跡及び市内各所に立地する神社仏閣など、地域に密着し本市の歴史を今に伝える貴重な資源を観光資源と捉え保存・活用を検討する。

#### ◆具体的取組み

取組み事業	取組み概要	取組み主体
 城山（祇園城）公園再整備事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・国史跡の保全・活用</li><li>・桜を中心とした花々が楽しめる空間</li><li>・思川の親水空間・景観との連携</li></ul>	小山市 事業者 市民
文化財の保存・活用事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・まちなか観光・交流拠点としての積極的な活用促進</li></ul>	小山市 事業者 市民

### 2-3 本場結城紬による観光まちづくりの推進


本場結城紬など本市の歴史・文化及び魅力を内外に伝える資源や、各地域の歴史・文化を今に伝える各種資源については、それらの保全とともに貴重な観光資源と捉え、それらを活かした個性と魅力ある観光振興を図る。

#### ① 本場結城紬の活用

国の重要無形文化財であり、ユネスコの無形文化遺産にも登録されている「本場結城紬」は、国内外に誇れる本市の文化資源であり、着地型観光への展開などその活用事業等により、本場結城紬の観光資源としての活用と需要の掘り起こしを図る。

本場結城紬の活用にあたっては、「おやま本場結城紬クラフト館」、「桑・蚕・繭・真綿かけ・糸つむぎのさと」及び「栃木県産業技術センター紬織物技術支援センター」、産地組合や、結城市など他の行政機関との連携を図りながら取り組む。

#### ◆具体的取組み

取組み事業	取組み概要	取組み主体
 本場結城紬プロモーション事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おやま本場結城紬クラフト館での実演・体験事業の実施</li> <li>・本場結城紬物産の販売促進</li> <li>・イベント開催による結城市・小山市（きものday結城、小山きもの日）連携事業の実施</li> </ul>	小山市 事業者 市民


### 2-4 渡良瀬遊水地周辺地域のエコツーリズム推進

ラムサール条約の目的でもある湿地の「保全」と「賢明な利用」のため、渡良瀬遊水地の貴重な自然環境を保全するとともに、その環境を活かした魅力あるエコツーリズムを推進する。

#### ① エコツーリズムの推進による観光振興

本市の代表的な自然資源であり、兵庫県での野生復帰開始以降では東日本で初となる、野外繁殖でのコウノトリ誕生の地としても話題となった渡良瀬遊水地について、その環境を活かし、関連市町、地域住民及び関係団体等と連携しながら、自然環境を保全するとともに、渡良瀬遊水地コウノトリ交流館などを活用した体験・参加、学習型のエコツーリズムを推進し、観光振興を図る。

#### ◆具体的取組み

取組み事業	取組み概要	取組み主体
 渡良瀬遊水地のエコツーリズム推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・渡良瀬遊水地の自然環境の保全</li> <li>・体験・参加、学習型エコツーリズムの推進</li> <li>・関連市町、市民や事業者等との協働による事業推進</li> </ul>	小山市 事業者 市民

## 2-5 自然と歴史のネットワーク整備

歴史的・文化的資源と、渡良瀬遊水地や思川等の自然・観光資源を結ぶ交通ネットワーク整備を図る。

### ① 自転車ネットワークによる回遊性の確保


観光拠点の立地は市内広範囲に及ぶため、それらを効率的に巡ることができるよう、自転車を利用した回遊ネットワークの形成を図る。

幹線道路や河川堤などを利用した自転車道路網を活用するとともに、まちの駅や主要観光拠点におけるレンタサイクルシステム等の充実を図り、また、ホテル事業者等とも連携しながら、観光客の利用利便性向上を図る。

### ② コミュニティバス等公共交通の充実

現在市民や来訪者の移動手段となっている「おーバス」について、市内観光に利用できるよう、主要な観光施設等を巡るルート等を情報発信するなど、公共交通を活かした周遊観光の促進を図る。

#### ◆具体的取組み

取組み事業	取組み概要	取組み主体
自転車ネットワーク形成事業	・商業・観光拠点をネットワークする自転車走行空間の整備	小山市事業者
 コミュニティバス運営事業	・観光資源等を効率よく連絡する周遊観光ルートの情報発信 ・周遊観光に活用できるようおーバス路線の運行本数の増加等を検討	小山市事業者



【おーバス渡良瀬ライン】

## 2-6 観光誘客の推進

新型コロナウイルス感染症拡大の状況を注視しながら、農泊等を通じた体験型教育旅行の受け入れや、渡良瀬遊水地、本場結城紬、各種イベント等を活用したツアー旅行など、国内からの誘客やインバウンド観光を推進する。

## ① 教育旅行等の推進

栃木県と連携しつつ、農泊事業やその他関連事業との一体的展開を視野に、教育旅行生等の訪問を受け入れる事業を実施し、インバウンド等による訪日外国人の観光誘客を推進する。

ただし、現時点では新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、インバウンド観光が見込めない状況であることから、国内学校の修学旅行による誘客や、アフターコロナを見据えた教育旅行に関連するSNS等によるPR・情報発信及び受け入れ体制等の強化、充実を図っていくものとする。

## ◆具体的取組み

取組み事業	取組み概要	取組み主体
教育旅行等推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農泊や観光資源等を生かした体験型教育旅行の推進</li> <li>・SNS等によるPR・情報発信</li> <li>・受け入れ体制の強化、充実</li> <li>・インバウンド観光等の推進</li> </ul>	小山市 市民



【体験型観光資源として人気があるいちご狩り】



【シンガポールからの教育旅行受け入れ】

### 3. 多様なPR・情報等による小山の商業・観光の魅力発信

#### 3-1 新たな特産品の創生・発信支援

地元の産品を活用した商品開発、地域の食材を使った料理講習会等を通じて新たな料理の提案等を通じて、本市独自の特産品の創生や、本市独自の食文化の発信を図る。

##### ① 独自の食創出・発信

地元農家や事業所等との連携や、若い世代、女性のアイデアや活力を積極的に導入しながら、本市の優れた地場産品を活用し、新たな特産品の開発を行いながら、農・商・工の連携による、本市独自の食を発信する。

##### ◆具体的取組み

取組み事業	取組み概要	取組み主体
独自の食創出・発信支援事業	・地場産品を活用した新たな特産品の開発支援	小山市 事業者 市民



【小山市の主な地場産品（左：おやま和牛、右上：ふゆみずたんぼ米、右下：ハトムギ）】

### 3-2 おやまブランドの活用

「小山評定ふるさと大使」と連携するなど、小山の魅力を発信する効果的なツールとして「おやまブランド」の積極的な活用を図り、本市のイメージアップを図る。

#### ① 「おやまブランド」の発信と新たな創出・販路拡大

第3期「おやまブランド」創生・発信推進計画に基づき、産学官連携等により、おやまブランドの創出を進めるとともに、既存のブランド品の価値を高め、首都圏等を中心に販路拡大を目指す。

#### ② 「小山評定ふるさと大使」によるPR強化

本市にゆかりのある著名人の方々に委嘱している「小山評定ふるさと大使」を通じた本市のPRを強化し、小山の知名度を高め、イメージアップの強化をさらに進める。

#### ◆具体的取組み

取組み事業	取組み概要	取組み主体
おやまブランド創出・発信事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おやまブランド創生・発信推進計画」の推進</li> <li>・首都圏を中心とした販路拡大</li> </ul>	小山市 事業者 市民
「小山評定ふるさと大使」事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山市のPR強化</li> <li>・小山市のイメージアップ強化</li> </ul>	小山市



【おやまブランド発信拠点の道の駅思川】

### 3-3 小山の魅力発信の推進

本市の観光資源の様々な魅力や価値を、継続的かつ効果的に市内外に発信する活動の積極的展開を図る。

#### ① 多様なツール・場の活用

既存観光パンフレット等については、必要に応じて記載情報の更新や、より見やすくわかりやすいデザインの検討等の、品質の向上などを図る。

また、情報化の進展に対応して、国内をはじめ海外への情報発信等も含め、市ホームページやSNSを活用し、若い世代にも身近な感覚で情報入手可能な手法等の利用を検討する。

#### ◆具体的取組み



取組み事業	取組み概要	取組み主体
シティプロモーション事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山への愛着（シビック・プライド）醸成</li> <li>・事業者、庁内関連部署等の連携による事業展開</li> </ul>	小山市 事業者 市民
SNS活用情報発信事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様なツールを活用した情報発信</li> <li>・若い世代へのアピールと小山応援団の充実</li> </ul>	小山市 事業者 市民
バーチャル観光情報発信事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな観光スタイルに対応した手法の実践</li> <li>・国内外に向けた小山の魅力・観光資源等のPR</li> <li>・新たな顧客の獲得</li> </ul>	小山市 事業者



【Twitterを活用した情報発信】



## 4. 協働・連携で取り組む商業・観光施策の展開

### 4-1 体制強化・人づくり支援

各種施策を効果的に展開していくため、企画・実施等の主体となる関係組織の体制強化を図る。また、市内中小企業、商店等に対しては、事業資金の低利融資等の支援策を講じ、経営の安定・成長を図る。

さらに、市民が主体的に関わる観光ボランティアの育成を図り、来訪者に対するおもてなしの向上とともに、市民の観光に対する意識高揚を図る。

#### ① 若者等の活動・起業支援

商業・観光における後継者の育成を図るとともに、若者が本市で行う商業・観光事業に魅力を感じ積極的に参入できる環境整備に努める。

また、資金援助、活動の場の提供など、多面的な若者等の活動・起業支援を行い、新たな発想や時代に柔軟に対応した施策展開を促進する。

#### ② 市民、中小企業、商工観光関連団体等の支援

各種団体の統合及び商店街活性化推進体制を強化するための組織化・法人化の助言・指導、新規参入店の各種団体への加入促進への支援を行う。また、各地区における魅力ある商店街づくりのための支援や商店会相互の協力体制の構築を図る。

市内中小企業、商店等の経営の安定・成長を図るため、事業資金の低利融資など、経済状況に鑑み借入者のニーズや資金需要に対し迅速な対応に努める。

#### ③ 観光ボランティアガイドの育成

本市は、神社仏閣、古墳等の多くの歴史資源や、思川、渡良瀬遊水地、大沼等の自然資源のほか各種イベントなど、地域に根ざした観光資源が立地しており、本市を訪れる観光客の方々に、その魅力を地元ならではの知識と情報で紹介・案内を行うための人づくりを図る。

育成・活用にあたっては、既設まちなかボランティアガイド「いいところ教え隊」や（一社）小山市観光協会、小山商工会議所、各自治会等との連携を図ることが重要となる。

◆具体的取組み



取組み事業	取組み概要	取組み主体
若者商業観光活動支援事業	・「小山市起業家支援事業」の継続実施 ・活動費助成等商業観光活動支援	小山市 市民
中小企業事業資金融資事業	・市内中小企業、商店等の事業継続支援 ・事業資金の低利融資	小山市
観光ボランティアガイド育成事業	・観光ボランティアガイドの育成と活用による協働での観光振興	市民

## 4-2 広域連携の促進

渡良瀬遊水地などは、広域的に関連する観光資源であること、また、単独では観光客にとっても単発的な観光になりがちであることなどから、各種施策・事業の展開にあたっては、より広く観光客を誘致するため、近隣地域との連携を図りながら、新たな広域観光メニューの開発、充実等を図る。

### ① 広域連携の促進

本市及び栃木市・下野市・壬生町・野木町の県南に位置する下都賀地区の連携を強化し、各市町の魅力を活かしながら、地区全体での商業・観光施策の展開を効果的に行うことにより、広域的な誘客力の向上と相乗的の魅力アップを図る。

また、特に貴重な観光資源としての渡良瀬遊水地については、栃木県・群馬県・埼玉県・茨城県の4県にまたがる広域的な資源であることから、渡良瀬遊水地を囲む市町との広域連携を積極的に図る。

### ② 広域周遊観光の充実

交通の要衝である本市の強みを活かし、本市を広域観光の拠点として利用してもらえよう、玄関口としての観光基盤の強化を図るとともに、近隣地域や観光事業者等との連携により新たな広域観光メニューや広域観光ルートを開発を図る。

また、栃木県をはじめ、日光市、宇都宮市、足利市、佐野市など県内有数の観光都市等との連携を図り、共同キャンペーンイベント等の企画、実施により相互誘客を促進する。

◆具体的取組み

取組み事業	取組み概要	取組み主体
下都賀地区広域観光ネットワーク事業	・各市町の魅力を生かした広域観光の推進	小山市
広域観光メニュー開発事業	・渡良瀬遊水地周辺観光ネットワークの連携強化 ・新規観光メニューの開発・充実	小山市 事業者

## 5-4. 重点事業の位置づけ

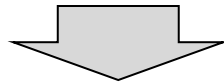
各種具体的取組み事業のうち、本市の商業・観光振興を図る上で重点的に取り組むことが望ましい事業を「重点事業」として位置づける。

重点事業の位置づけにあたっては、大きくは次の3つの視点を持って、下記の事業を抽出した。(前項の具体的取組み一覧左にマークを示したもの)

これら重点事業については、相互に関連する事業も含まれることから、単独での事業展開ではなく、より効率的に効果が発揮できるよう、調整・連携しながら推進することが望ましい。

### ◆重点事業抽出の視点

- 視点1：地元商業観光事業者の持続的活動を支援する
- 視点2：商業観光振興を効果的に図る上で拠点となる
- 視点3：本市が有する自然・文化資源、産品等の個性を有効に活用できる



### ◆重点事業一覧

該当基本施策	重点事業
1-1	まちづくり活動推進事業
1-3	開運小山市共通商品券発行事業
1-4	まちの駅運営事業
2-2	城山（祇園城）公園再整備事業
2-3	本場結城紬プロモーション事業
2-4	渡良瀬遊水地のエコツーリズム推進事業
2-5	コミュニティバス運営事業
3-1	独自の食創出・発信支援事業
3-2	おやまブランド創出・発信事業
3-3	シティプロモーション事業
4-1	中小企業事業資金融資事業



関連する事業を複合的に実施し、効率よく効果的な商業観光振興を図る。

## 5-5. イベント事業実施の方向性検討

現在実施されている商業・観光に係るイベントについて、事業のスリム化・効率化を図るため、今後のイベント実施の方向性等を検討する。

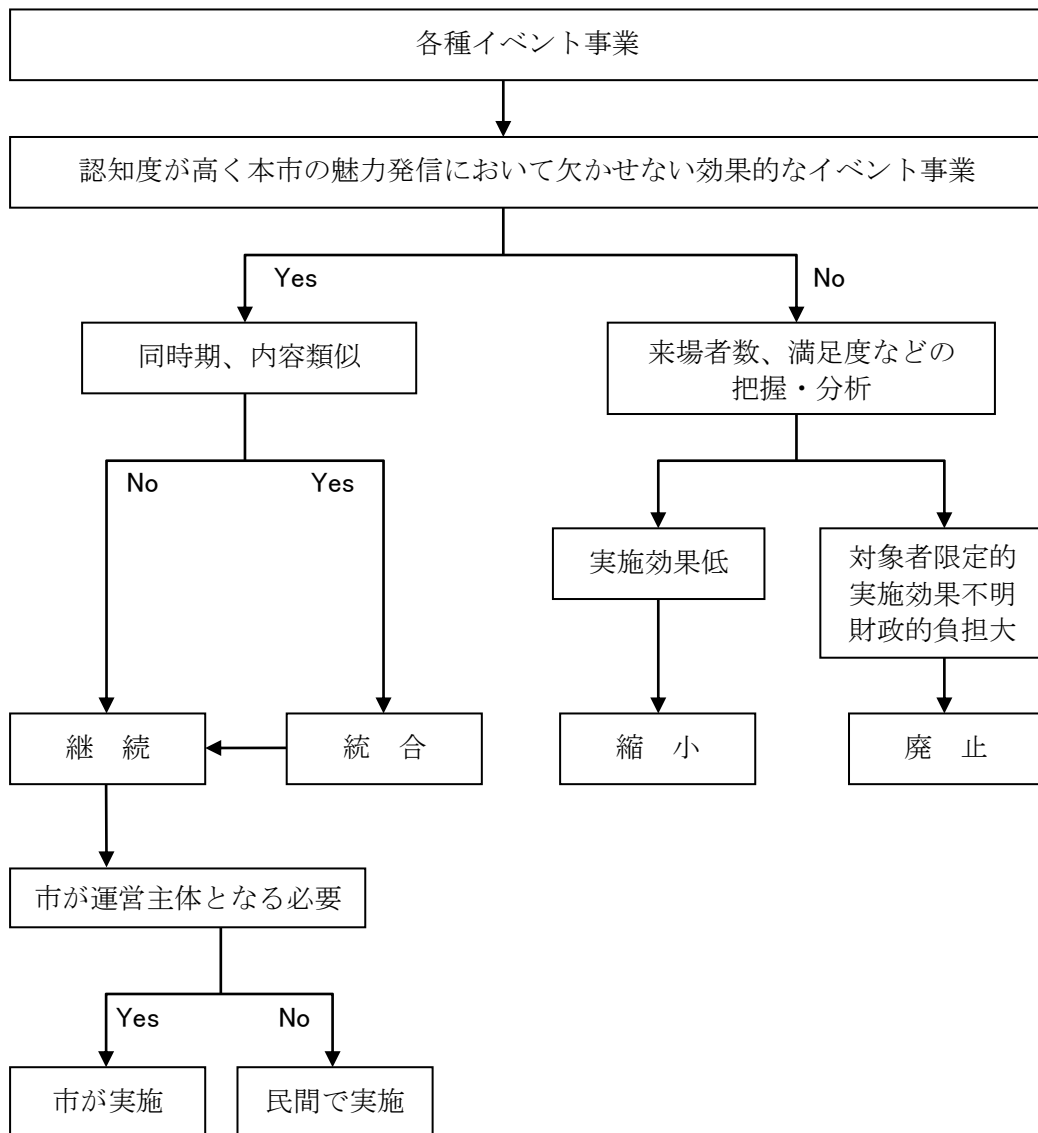
本計画において整理した現状や課題等を踏まえるとともに、今後、来場者数や、満足度などを把握、分析し、下記の分類をもとに関係者等の意向を把握しながら具体的な協議を行い、今後のイベント実施の方向性を個別具体的に判断していくものとする。

特に、現在市が運営主体となっているもの、あるいは、運営組織に対し市が補助金を出しているイベントについては、財政的負担の軽減及びより効果的なイベント実施を推進していくため、運営形態の民間組織等への移行を適宜検討していくものとする。

### ◆イベント事業実施の方向性

区 分	方向性等
継 続	<p>広く市民をはじめ観光的視点においても認知度があり、本市の魅力を発信する効果的なイベントとして今後も継続的に実施するものとする。</p> <p>また、地域住民等が主体となって実施されている各種お祭り等については、基本的には地域の実情、取組み状況等を踏まえながら、継続的に実施を促進していく。</p>
統 合	<p>開催時期・内容等類似したイベントについては、統合することによって、相乗効果が期待されるほか、経費・人員の削減を図ることが可能となるため、関係者との協議を踏まえ、可能な限り統合実施を検討していく。</p>
縮 小	<p>特に市が運営主体あるいは補助金を出しているイベントにおいて、実施の効果が低いものについては、財政的負担の軽減を図るため、今後の実施効果を踏まえながら規模の縮小を検討していく。</p>
廃 止	<p>市が運営主体あるいは補助金を出しているイベントの中で、特に対象者が限定的であり、実施効果が不明、あるいは明らかに財政的に負担が大きく、実施の必要性が希薄であるものについては、原則として廃止していく方向で検討する。</p>
民間移行	<p>市が運営主体となる必要がなく、民間に任せることが効率的なイベントについては、積極的に民間への運営形態の移行を検討していく。</p>

◆イベント事業実施の方向性検討フロー（イメージ）



※上図はおおむねの流れをイメージしたものであり、実際の方向性判断にあたっては、関係機関や関係者等との協議を行いながら、個別具体的に検討するものとする。

※地域のお祭り等のイベント事業については、原則継続的に実施していくものとする。

## 第6章

# 実現に向けた課題整理

### 6-1. 実現に向けた課題整理

#### (1) 推進体制づくり

本計画に位置づけた各種施策・事業を着実に実現していくためには、多様な組織やその想いをまとめ、各事業の展開を総括的に管理・運営していくことが求められる。

官民間問わず商業、観光に関わる関係組織を有効に取り込みながら、事業推進の統括的枠割を担う体制を構築することが重要である。

また、商業観光の振興は、大きくは都市づくり、まちづくりと密接に関連していることから、関係部署と緊密に連携をとって事業を企画・展開していくことが必要であり、全庁的な取組みが求められる。

#### (2) 計画の進行管理

本計画に位置づけた各種施策・事業を着実に実現していくため、必要な予算措置を行いながら、実施した事業の効果の定期的な検証を行い、必要に応じ事業の見直し等を行うことが求められる。

また、本計画の期間は5ヵ年と比較的短いスパンであるが、近年に見られるような目まぐるしく変化する社会経済情勢等の変化や、それに伴う本市を取り巻く商業観光の動向に柔軟に対応するため、必要に応じ計画の見直しを行うことが必要である。

#### (3) 連携と協働

行政、事業者、市民それぞれの役割を十分踏まえ、より効率的に事業を推進するため、相互の連携強化を図るとともに、協働による商業観光振興を総合的に推進していくことが必要である。

また、本市単独での商業観光振興を進めるばかりでなく、広域的な観光資源や県南地域における交通の要衝という優位性を活かしながら、周辺都市あるいは県内主要都市等との連携による広域的な商業・観光振興策の展開が求められる。

## 資料編

### 資－１．策定の経緯

年 月 日	内 容
令和3（2021）年 1月（書面開催）	第1回小山市商業・観光振興計画策定委員会
2月（書面開催）	第1回小山市商業・観光振興計画策定懇話会
3月2日（火） ～3月15日（月）	「第3期小山市商業・観光振興計画（素案）」に対する パブリックコメント
3月19日（金）	第2回小山市商業・観光振興計画策定委員会
3月24日（水）	第2回小山市商業・観光振興計画策定懇話会

### 資－２．パブリックコメント：「第3期小山市商業・観光振興計画（素案）」について

#### （１）パブリックコメントの概要

閲覧方法	・小山市ホームページ ・文章閲覧（商業観光課、市各出張所）
意見提出期間	令和3年3月2日（火）～3月15日（月）
意見提出方法	・郵送 ・ファックス ・電子メール ・小山市役所への持参
意見提出先	・小山市商業観光課

(2) 実施結果と市の考え方

意見提出数：1人（11件）

No.	項目	ご意見・市の考え方	
1	20 頁 ①大規模店舗 の立地状況	意見	表・グラフ「市内大型店舗面積等」 直近のデータが2014年（平成26年）と7年前のものであるため、現状把握のためにも最新のものの使用に努めてください。  表「業態別店舗数および市内立地大型店舗一覧」 市内大型店舗面積等の表と関連付けて参照できるよう、表にデータの作成年を明記してください。
		考え方	より効果的な分析・現状把握が行えるよう、直近データをもとに追加修正します。表の作成年についても追記します。
2	25 頁 (3)観光客入 込数、宿泊数 の推移	意見	宿泊施設（床面積、ベッド数、形態）に関する情報をつけた方がよいと思う。また、令和2年度のデータはそろっていないと思うが、コロナの影響を検討するため、2019年4月以降、データ利用が可能な時期までの観光客数、宿泊数の月毎のデータを示すことはできないか。
		考え方	観光客入込数には、宿泊施設の床面積、ベッド数、形態等の情報は入っておりません。また、コロナの影響を考慮することは重要でありますので、今後、最新の集計結果をもとに、事業の取り組みに活用してまいります。
3	37 頁 図 小山駅周 辺における開 発動向	意見	図に、閉鎖された事業所等の名称が記載されています。町名のみを示した白地図の方が適当と考える。
		考え方	一部の事業所の記載は適切でないことから削除いたします。



No.	項目	ご意見・市の考え方	
4	38頁 3-1アンケート調査から見る市民及び商業観光関連事業者の意向について	意見	<p>グラフの中のコメントは、作成者の意図が分かりやすい一方、データの見方を誘導されているように思える。章の最後に、「アンケートから見える意向」として、表記した方がよいと思われる。</p> <p>「市民及び商業観光関連事業者の意向」とあるが、調査結果に示されている事業者は、2016年に実施した旅行事業者海外支店のものと思われる。小山市内の商業観光関連事業者のアンケート調査では無いのか。無い場合は、アンケート調査をした方がよいと考える。</p> <p>P41(3)小山市インバウンド3ヵ年計画からのデータを使用されており、データが2016年のものであること、アンケートの手法が、2021年からの5年間の計画を立てるものとして利用することに疑問(当時の情報誌に掲載されていた観光スポットとイベントから、人気が出そうなものを選ばせる)に思われる。また、田んぼアートについてコメントが記載されているが、2021年度から事業は廃止になるのではないかと。同様にALTの調査結果(小山市インバウンド3ヵ年計画)も、データ数23(男性17人、女性6人)と母数が少ないと思われる。市内の在住外国人7,000人や、県外から小山市に移り住んだ白鷗大学生などを対象にアンケート調査をした方が小山市の魅力が客観的に分かると思われる。</p> <p>P43(4)で使用されているデータも2015年調査であり、現状を反映しているとはいえないと思われる。使用するデータの再考をご検討ください。</p>
		考え方	<p>コメントは、各々のグラフの特徴的なものや特筆すべきものを示したものであり、一方的な意志を持って掲載しているものではありません。</p> <p>また、これらの結果に関しては、第4章 計画課題の整理において商業・観光それぞれの観点から総合的にまとめています。</p> <p>各種データに関しては、既存の計画や資料より参考となるものを使用したものです。事業を進める上では、適宜必要に応じ調査等を実施し、現状把握に努めるなど、市民等の意向に沿った事業が展開できるよう実施してまいります。</p> <p>また、田んぼアートについてはご指摘の通りですが、本市の事業として人気を得ている事例であることから、今後のイベント検討における参考としての活用を想定し掲載しています。</p>

No.	項目	ご意見・市の考え方	
5	45頁 観光・イベント事業に関する現状からの課題	意見	外国人観光客等の受入環境の充実を図るため、観光関連施設における外国語表記等の整備やWi-Fi環境に取り組んでいる自治体が多くある。具体的には、(1) 外国語表記の整備、(2) Wi-Fi環境の整備、(3) 消費税免税店開設準備及び電子決済端末導入整備についての補助事業です。課題にこれらの視点が入っていないように思われる。また、繰り返し浸水害を受けた小山市として、災害発生時の観光客や通勤・通学で小山市を訪問している人々への対応も課題として加えることもご検討ください。
		考え方	小山市観光協会では、日本政府観光局で実施している「JNTO認定外国人観光案内所」の認定を受けており、これまで対応可能な取組みを進めております。本計画策定においては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、観光業に対する影響が大きいこと、また今後を見据えた場合、この影響は長引く懸念があることから、外国人の受入体制整備により、インバウンド頼りにならない対応策を課題としました。
6	46頁 商業・観光振興の基本方針	意見	「賑わい・魅力ある商業・観光振興で人々に選ばれ、楽しみ喜ばれる、おやまの創造」について、“選ばれ”、“喜ばれる”は、結果としてそのようになることであり、基本方針の言葉として入れることに違和感がある。また、方針そのものが長く焦点がつかみにくい印象を受けた。加えて、小山市の新しいキャッチコピーとロゴマークが決まったので、それと関連付けた基本方針とした方が良いように思われます。
		考え方	基本方針は、小山市へ来訪した方々が、結果として楽しんでいただき、喜んでいただけるような魅力ある商業と観光を推進していくことを目指すべき目標として定めたものであります。 また、市のキャッチコピーやロゴマークについては、市のシティプロモーション「魅力発信」の中で取り組んでおり、本計画の中での位置づけはしませんが、小山市や観光協会において積極的な使用（PR）に努めてまいります。
7	49頁 主体凡例	意見	官 小山市、事 事業者、民 市民 好みの問題ですが、余白が十分ある中で、略することの意味があまりないように思われる。小山市、事業者、市民とそれぞれ記載した方が、印象が良い。
		考え方	取組み主体が一目でわかるよう略さずに記載いたします。
8	55頁 2-3本場結城紬による観光まちづくりの推進	意見	本場結城紬の活用として、小山市単独よりも結城市との連携も視野に入れていった取組みをする方が、活用の広がりがあると考えます。
		考え方	本場結城紬プロモーション事業として、イベント開催による結城市・小山市（きもの day 結城、小山きもの日）連携事業について追記いたします。

No.	項目	ご意見・市の考え方	
9	56 頁 ①自転車ネットワークによる回遊性の確保	意見	自転車道路の活用とともに、自転車が安全に走れる道路の整備も並行して取り組んでいただきたくお願いします。また、レンタサイクルシステム等の充実とありますが、小山市シェアサイクル「らくーる」は2021年3月末で廃止です。公設・民設のレンタサイクル事業が、今後、新設されることを期待します。
		考え方	県の計画である自転車道の整備はR2年度で完了し、シェアサイクル「らくーる」についてもR2年度で終了いたしますが、継続するまちの駅のレンタサイクル等を活用できるよう、関係各課と連携して、自転車が安全に走行できるよう取り組んでまいります。
10	56 頁 ②コミュニティバス等公共交通の充実	意見	MaaS 事業の取り組みや、路線や時間帯を制限してバスへ自転車の持ち込み、もしくはバイクラックを利用した積み込みを可能にすること（北米や欧州などでの利用あり）など、バス+αの取り組みの充実をご検討ください。
		考え方	ご指摘の内容である、MaaS 事業の取り組みやバスと自転車の連携について検討してまいります。
11	62 頁 4-2 広域連携の促進	意見	小山市の交通の要衝であるという恵まれた立地条件と比べて、小さな自慢は山ほどあるが、残念ながら、市内には目玉となる全国的に有名な観光資源がないと思う。基本目標 1.2.3 は、いずれも小山市内のみを訪問する人を対象にした事業の印象を受ける。実際の旅行者の行動パターンは、推測だが、現状小山市は通過点と思う。たとえば、砂漠の中のオアシスのように、物資を補給できる場所、つまり、短時間の休息、情報（Wi-Fi 環境、近隣の観光地の情報、スマホの充電）、衣料品（長期旅行者は洗濯できる場所を探している）、食料品の購入（観光地への移動時間確保のため食事を簡単に済ませることがある）を充実させる方が、観光資源を磨き上げることよりも、迅速に済ませることができるようと思われる。小山市を通過して次の場所へ行く人のためのインフラ整備に関する目標を基本目標 1.2.3 に加えてはいかがでしょうか。広域連携の促進の意味がより深まると思います。
		考え方	観光資源の発掘と磨き上げは、計画体系の基本目標とした4つの柱の一つであり、小山市の観光資源として、いかに豊かな自然や文化・歴史を活かしていくかを課題とするものです。 一方で、広域観光の拠点としての市の役割は十分に認識する必要があるものと考えており、ご意見にありますインフラ整備については、基本施策 2-5 自然と歴史のネットワーク整備と合わせて検討してまいります。

---

## 資一 3. 小山市商業・観光振興計画策定委員会

### (1) 設置要綱

#### ○小山市商業・観光振興計画策定委員会設置要綱

令和2年4月14日

規程第23号

#### (設置)

第1条 小山市商業・観光振興計画（以下「振興計画」という。）の策定に資するため、小山市商業・観光振興計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

#### (所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について調査検討する。

- (1) 振興計画の策定方針に関すること。
- (2) 振興計画の重要事項に関すること。
- (3) その他振興計画の策定に関し必要な事項

#### (組織等)

第3条 委員会は、別表に掲げる職にあるものをもって組織する。

- 2 委員長には副市長、副委員長には産業観光部長の職にある者をもって充てる。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

#### (会議)

第4条 委員会の会議は、委員長が必要に応じて招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、必要があると認めるときは、会議に関係者の出席を求め、意見を聴くことができる。

#### (報告)

第5条 委員会は、その会議、活動等の経過、結果等を市長に報告するものとする。

#### (庶務)

第6条 委員会の庶務は、産業観光部商業観光課において処理する。

#### (委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

## 附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

## 別表（第3条関係）

副市長 総合政策部長 市民生活部長 産業観光部長 都市整備部長 教育部長 総合政策部総合政策課長・文化振興課長 市民生活部国際政策課長 産業観光部農政課長・商業観光課長・工業振興課長・渡良瀬遊水地ラムサール推進課長 都市整備部都市計画課長・新都市整備推進課長・建築指導課長 教育委員会事務局生涯スポーツ課長
---

(2) 委員名簿

No.	役職	職名	氏名
1	委員長	副市長	雲井 富雄
2	副委員長	産業観光部長	目徳 有一
3	委員	総合政策部長	坪野谷 統勇
4	委員	市民生活部長	三柴 智恵子
5	委員	都市整備部長	浅見 知秀
6	委員	教育部長	阿久津 宣明
7	委員	総合政策課長	古川 都
8	委員	文化振興課長	野口 静男
9	委員	国際政策課長	篠原 正
10	委員	農政課長	松沼 健
11	委員	商業観光課長	舘野 雅俊
12	委員	工業振興課長	若林 俊也
13	委員	渡良瀬遊水地 ラムサール推進課長	今泉 由美子
14	委員	都市計画課長	須郷 幹雄
15	委員	新都市整備推進課長	村上 賢介
16	委員	建築指導課長	黒田 清一
17	委員	生涯スポーツ課長	知久 敬子

事務局：商業観光課

資－４．小山市商業・観光振興計画策定懇話会

(１) 設置要綱

○小山市商業・観光振興計画策定懇話会設置要綱

令和２年４月１４日

規程第２４号

(設置)

第１条 小山市商業・観光振興計画（以下「振興計画」という。）の策定に資するため、小山市商業・観光振興計画策定懇話会（以下「懇話会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第２条 懇話会は、次に掲げる事項について懇談し、小山市商業・観光振興計画策定委員会に提言するものとする。

- (1) 振興計画の策定方針に関すること。
- (2) 振興計画の重要事項に関すること。
- (3) その他振興計画の策定に関し必要な事項

(組織)

第３条 懇話会は、１５人以内の委員をもって組織する。

２ 委員は、次に掲げる者の中から市長が委嘱する。

- (1) 市議会議員
- (2) 商工団体の代表者
- (3) 観光団体の代表者
- (4) 学識経験を有する者
- (5) その他市長が必要と認める者

(任期)

第４条 委員の任期は、委嘱された日から当該委員の委嘱に係る振興計画が策定されたときまでとする。

２ 委員は、委嘱されたときの要件を欠いたときは、その職を失うものとする。

(会長及び副会長)

---

第5条 懇話会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長は、委員の互選により定める。
- 3 副会長は、会長が委員の中から指名する。

(会長の職務等)

第6条 会長は、懇話会を代表し、会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 懇話会の会議は、会長が必要に応じて招集し、その議長となる。

- 2 懇話会の会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。
- 3 懇話会は、必要があると認めるときは、懇話会の会議に関係者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 懇話会の庶務は、産業観光部商業観光課において処理する。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、懇話会の運営に関し必要な事項は、会長が懇話会に諮って別に定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。



## (2) 委員名簿

No.	役職	団体名等	氏名	備考
1	会長	小山商工会議所	野口 起生	(2)商工団体の代表者
2	副会長	小山商店会連合会	天野 晃作	//
3	委員	小山市議会	篠崎 佳之	(1)市議会議員
4	委員	間々田商工会	中村 隆	(2)商工団体の代表者
5	委員	小山市美田商工会	五十畑 博	//
6	委員	桑絹商工会	諏訪 哲夫	//
7	委員	小山商工会議所 女性経営者会	宮内 せつ子	//
8	委員	小山商工会議所青年部	鈴木 一雄	//
9	委員	小山駅西口青年部 活性化委員会	阿久津 治	//
10	委員	根っ子の会	清水 とみ子	//
11	委員	小山市観光協会	岩崎 晴一	(3)観光団体の代表者
12	委員	小山市観光協会	岩崎 清孝	//
13	委員	小山市観光協会	諏訪 ちひろ	//
14	委員	白鷗大学	西谷 勢至子	(4)学識経験を有する者

事務局：商業観光課

## 第3期小山市商業・観光振興計画

---

賑わい・魅力ある商業・観光振興で  
人々に選ばれ、楽しみ喜ばれる、おやまの創造

---

令和3年3月  
小山市